MITSUBISHI

三菱ワイド液晶ディスプレイ

Diamondcrysta WIDE

RDT222WLM-A シリーズ

(BU042)

取扱説明書

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

■ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に「安全のために必ずお守りください」は、液晶ディスプレイをご使用の前に必ず読んで正しくお使いください。
■ 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
■ 「セットアップガイド」は「保証書」と共に大切に保存してください。
■ 必ず、転倒・落下防止処置を実施してください。→P7, 45を参照
■ この取扱説明文書内のURLはクリックするとウェブサイトへリンクします。

製品登録のご案内

三菱電機では、ウェブサイトでのアンケートにお答えいただくとお客様に役立つ各種サービスをウェブサイトにて利用できる「製品登録サービス」を実施しております。
詳しくはこちらをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/mypage

「ディスプレイ」のホームページ：www.MitsubishiElectric.co.jp/display

INTERNET INFORMATION & DOWNLOADS SERVICE

【個人のお客様】PCリサイクルマーク申込のご案内

ご注意:法人でご購入いただいた製品は無償提供の対象外です。

個人でディスプレイをご購入いただいたお客様には、無償で「PCリサイクルマーク」を提供しております。
ご購入後、お早めに下記のリサイクル窓口ホームページからお申し込みください。（画面の PCリサイクルマーク申込 からお入りください。）

www.pc-eco.jp

もくじ

ご使用の前に

安全のために必ずお守りください

使用上のお願い

各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

何ができるの？

省エネで節約

ECO設定 →P24, P28

ECO設定にて使用時の消費電力を節電できます。

パワーマネージメント機能 →P35

待機電力は、スリープモード時0.5W以下/オフモード時0.5W以下です。

映画や写真に適切な画質を簡単設定

DV MODE(Dynamic Visual MODE)機能 →P28, P32, P33

スタンダード、IVテキスト、フォト、sRGB、TV、シネマ、ルックアップの7つのモード設定から、お好みに応じた画質モードをお選びいただけます。

AV機器と接続

HDMI入力コネクター装備 →P11, P17

AV機器とHDMI接続することができます。

お知らせ

● すべてのHDMI機器への接続を保証するものではありません。

2台のコンピューターをひとつのディスプレイで切り替え表示可能

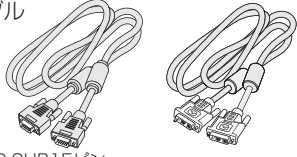
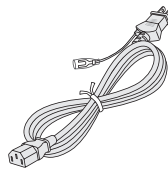
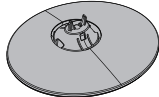
2系統入力 →P14

アナログ出力とデジタル出力のコンピューターを本機に接続し、画面を切り替えて表示させることができます。

画面をお好みの状態に調節/設定できる

OSD(On Screen Display)機能 →P25~P33

画面の明るさ、表示位置やサイズの調節、カラー設定、ECO設定などをOSD画面により調節することができます。OSD機能そのものに関する操作（OSD表示時間）もできます。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご連絡ください。

本書の見かた

本書の表記のしかた

お願い：取扱い上、特に守っていただきたい内容

お知らせ：取扱い上、参考にしていただきたい内容

→PXX：参考にしていただきたいページ

Win Mac：Windows®とMacintosh両方に関わる内容

Win：Windows® のみに関わる内容

Mac：Macintoshのみに関わる内容

知りたいことを探すために

やりたいことから探す→「何ができるの？」 →P3

言葉と意味で探す→「用語解説」 →P46

もくじで探す→「もくじ」 →表紙, P2

さくいんで探す→「さくいん」 →P49

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

本機は付属の電源コードおよび信号ケーブルを使用した状態でVCCI基準に適合しています。

本製品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気および低周波電磁界に関するガイドライン」に適合しています。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

本製品はPC3R「PCグリーンラベル制度」の審査基準（★★☆Ver.12）を満たしています。
詳細は、Webサイト：www.pc3r.jp をご覧ください。

本製品は「J-Mossグリーンマーク・ガイドライン」に基づくJ-Mossグリーンマークを表示しています。
「J-Moss(JIS C 0950)」に基づく特定の化学物質（鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE）の含有状況についての情報を公開しています。
詳細は、ウエブサイト：www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment をご覧ください。
形名：RDT222WLM-A/RDT222WLM-A(BK)

■本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
■本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
■本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。

Diamondcrysta WIDEは、三菱電機株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows Vista、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
MacintoshはApple社の米国等における登録商標です。
HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
その他、この取扱説明書に記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ
ご使用の前に
安全のために
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

安全のために必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険	死亡や重傷を負うおそれが大きい内容です。
警告	死亡や重傷を負うおそれがある内容です。
注意	傷害を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなくてはならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

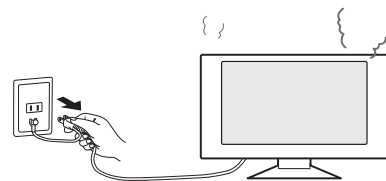
警告

異常・故障について

異常・故障時は使用を中止してください。

プラグを抜く

◆ **異常があったときは電源プラグを抜いてください**

◎煙が出たり、異常な臭いや音がする
◎映像や音声が出ないことがある
◎内部に水などの液体や異物が入った
◎本機に変形や破損した部分がある
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
●すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて販売店に修理を依頼してください。
●お客さまによる修理は危険ですから、おやめください。
●電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置の電源コンセントをご利用ください。

電源コード・電源プラグについて

◆ **破損するようなことはしないでください**

◎傷付ける　◎ねじる
◎加工する　◎引っ張る
◎熱器具に近づける　◎重いものを載せる
◎無理に曲げる　◎束ねる
火災・感電・ショートなどの原因になります。
● 修理は販売店に依頼してください。

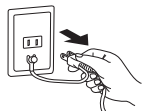
◆ **傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントは使用しないでください**

火災・感電・ショートなどの原因になります。
● 修理は販売店に依頼してください。

◆ **電源プラグは根元まで確実に差し込んでください**

差し込みが不完全だと火災・感電の原因になります。

◆ **電源プラグを持って抜いてください**

コードを引っ張ると破損し、火災・感電・ショートの原因になります。

◆ **電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください**

ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。

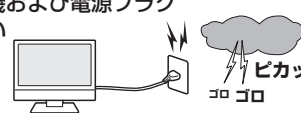
濡れ手禁止

◆ **濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください**

感電の原因になります。

接触禁止

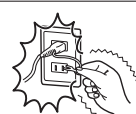
◆ **雷が鳴り出したら、本機および電源プラグには触れないでください**

感電の原因になります。

アース線を接続する

◆ **アース線を接続してください**

故障のときに感電の原因になります。
● 電源プラグを接続する前にアース線を電源コンセントのアース端子へ接続してください。
● アース線を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてからおこなってください。
● アース端子付き電源コンセントがない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

◆ **アース線を電源コンセントに挿入・接触させないでください**

感電・火災の原因になります。

プラグを抜く

◆ **長期間の旅行、外出のときは電源プラグを抜いてください**

電源プラグにほこりがたまり、感電・火災の原因になります。

⚠警告

接続ケーブルについて

◆ 接続ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください

火災・感電の原因になります。

◆ 接続ケーブルを壁面に挟んだり、足をひっかけたりしないように処理してください

火災・感電・けがの原因になります。

水濡れについて

水濡れ禁止

◆ 上に花びんやコップなどを置かないでください

故障・火災・感電などの原因になります。

風呂・シャワー室などでの使用禁止

◆ 風呂場や水のかかる所に置かないでください

故障・火災・感電などの原因になります。

電源について

◆ 電源はAC100-120VまたはAC220-240Vを使ってください

火災・感電の原因になります。

- AC100V電源では付属の電源コードを使用してください。
- AC100V以外の電源では、使用電圧に適合する電源コードをご準備ください。

異物について

◆ 内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を入れないでください

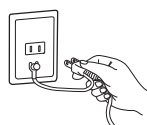
火災・感電・故障の原因になります。

- 特にお子さまにご注意ください。

液晶について

◆ 液晶パネルが破損して液晶が漏れ出た場合は、吸い込んだり、目や口に入れたりしないでください

中毒を起こす原因になることがあります。

- 万一、目や口に入ってしまった場合は、水でゆすいだ後、すぐに医師の診察を受けてください。
- 手や衣類に付着した場合は、アルコール等で拭き取り、水洗いをしてください。

電源について

◆ 電源コンセントや電源コードの定格を超えて使わないでください

◆ たこ足配線をしないでください

電源コンセントの電流容量を超えると、火災の原因になります。

誤飲防止について

◆ 小さい付属品は、乳幼児の手の届く所に置かないでください

誤って飲み込むおそれがあります。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師の診察を受けてください。

設置について

◆ 不安定な場所に置かないでください

倒れたり、落ちたりしてけがや故障による火災の原因になります。

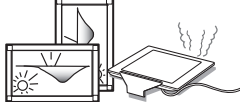
分解禁止について

分解禁止

◆ 裏ぶた、キャビネット、カバーを外したり、本機を改造しないでください

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因になります。

高圧注意

- 内部の点検・調整・修理は修理相談窓口にご依頼ください。

⚠注意

本機の取り扱いについて

◆ **強い力や衝撃を加えないでください**

LCDパネルのガラスが割れて、けがの原因になることがあります。

◆ **上にものを置かないでください**

落下して、けがの原因になることがあります。

◆ **直射日光や熱器具のそばに置かないでください**

故障の原因になることがあります。

◆ **液晶パネル面を強く押さないでください**

・傷が付いたり、破損してけがの原因になることがあります。

・画質劣化や故障の原因になることがあります。

手を挟まれないように注意

◆ **本機のスタンド取り付けおよび画面位置や角度の調節時に手を挟まないでください**

◆ **付属のスタンドは本機以外では使用しないでください**

けがの原因になります。

◆ **ポリ袋で遊ばないでください**

本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因になることがあります。

● お子さまにはご注意ください。

◆ **乗らないでください**

◆ **ぶらさがらないでください**

倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります。

● お子さまにはご注意ください。

◆ **屋外で使用しないでください**

故障の原因になることがあります。

◆ **車に載せるなどの移動用途では使用しないでください**

故障の原因になることがあります。

◆ **電源コードや接続ケーブルをつけたまま移動しないでください**

本機や電源コードおよび接続ケーブルが破損する原因になります。

設置について

◆ **通風孔をふさがないでください**

◆ **風通しの悪い狭い所で使用しないでください**

◆ **上向きや横倒し、逆さまで使用しないでください**

内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。

通風孔をふさがない

狭い所で使わない

上向きや横倒し、逆さまで使わない

◆ **本機の上面、左右面は壁などから10cm以上の間隔をおいて設置してください**

内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。

◆ **湿気やほこりの多い所、油煙や湯気があたるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください**

ショートして故障したり、画面が汚れたりする原因になることがあります。

◆ **転倒・落下防止部品を使用して固定してください**

転倒・落下して、けがの原因になります。

設置台を補強する

丈夫な紐などで製品を壁とつなぐ

⚠注意

お手入れのしかた

◆ **お手入れの前に、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください**

■ 液晶パネルのお手入れ

表面は傷付きやすいので硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
ほこりの付いた布・化学ぞうきんで表面をこすると液晶パネルの表面がはがれることがあります。

- 表面は、脱脂綿か柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 油など拭き取りにくい汚れのときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り、拭き取ったあと柔らかい布で仕上げてください。研磨剤が入った洗剤は、表面を傷付けるので使用しないでください。
- 水滴などがかかった場合は、すぐに拭き取ってください。そのままにすると液晶パネルの変質や変色の原因になります。
- 表面にほこりが付いたときは、市販の柔らかいブラシなどでおとしてください。
- 帯電防止剤は、液晶パネルの変質や変色の原因になるものがあります。ご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

■ キャビネットのお手入れ

キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジンやクリーナーなどで拭くと変質したり、塗料がはげる原因になります。

- 柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞り拭いてください。
- 水滴などが液晶パネルの表面を伝ってディスプレイの内部に侵入すると故障の原因になります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

◆ **通風孔に付着したゴミはこまめに取り除いてください**

ほこりが通風孔をふさいで内部に熱がこもり、故障の原因になることがあります。

◆ **1年に一度は内部掃除をしてください**

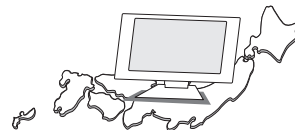
内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因になります。

- 内部の掃除は販売店にご依頼ください。

ご使用に関して

◆ **海外で使用しないでください**

国内と海外では電源電圧が異なり、故障の原因になることがあります。

- 本機は日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、この製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

◆ **目が疲れないように使用してください**

目が疲れる使い方を続けると、視力低下などの健康障害に至ることがあります。

- 画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40〜70cmはなれたぐらいが見やすくて目の疲れが少なくなります。
- 明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。
- 連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

◆ **長時間同じ画面を表示しないでください**

長時間同じ画面を表示していると、表示が焼き付くこと（残像）があります。

- 画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。
- 「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えたり、使用していないときは省電力モードにするか、電源をオフすることを推奨します。

使用上のお願い

液晶ディスプレイの上手な使い方

電波妨害について

本機は規格を満たしていますが若干のノイズが出ています。「ラジオ」などの機器に本機を近づけると互いに妨害を受けることがあります。その場合は、機器を影響のない所まで本機から離してください。

搬送について

- 引っ越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱と緩衝材および包装用のシートや袋をご用意ください。
- 本機は立てた状態で運搬してください。横倒しにして運搬した場合、液晶パネルのガラスが破損したり、点欠陥が増加する場合があります。

保管について

- 長期保管される場合は、電気的な性能を維持するために、定期的（6ヶ月に1回程度）に通電してください。
- 輸送・保管時は、水・ゴミ・ほこりや衝撃から保護するために、ご購入時の包装材（箱・袋・緩衝材）を使用されることを推奨します。

廃棄について

- 本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づく、回収・リサイクルにご協力ください。 →P41

液晶パネルについて

- 液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合があります。
  これは故障ではありません。
  本製品の有効ドット数の割合は99.9995%以上です。

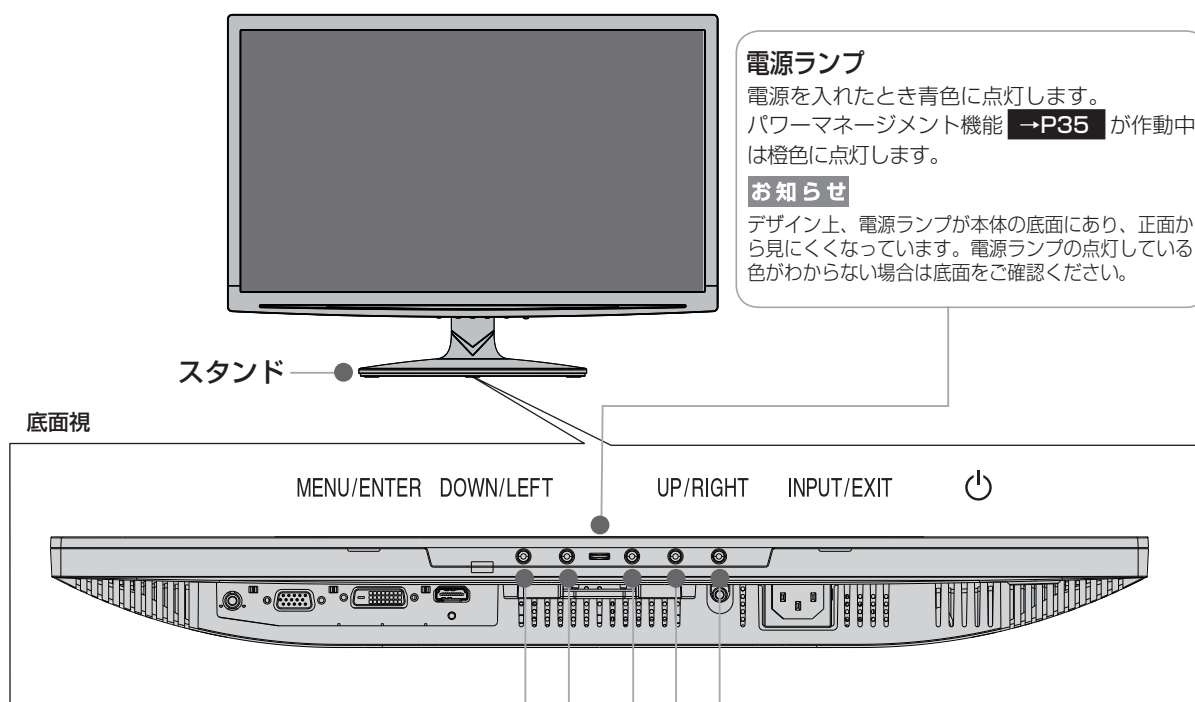
お知らせ

有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、当社で保証する表示可能なドットの割合」を示しています。
「画素」および「ドット」という言葉はISO13406-2にしたがい、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(sub pixel)」となります。
つまり、「画素」は実態のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

- 液晶パネルが汚れた場合は、脱脂綿か柔らかい布で拭き取ってください。
  素手で触らないでください。
- 液晶パネルに水滴などがかかった場合は、すぐに拭き取ってください。
  そのまま放置すると液晶パネルの変質、変色の原因になります。
- 液晶パネルを傷付けないでください。
  硬いもので液晶パネルの表面を押したり、ひっかいたりしないでください。

■ お客様または第三者が本機を使用中または誤使用により生じた故障やその他の不具合または本機の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

各部のはたらき

本体正面

電源ランプ
電源を入れたとき青色に点灯します。
パワーマネージメント機能 →P35 が作動中は橙色に点灯します。

お知らせ
デザイン上、電源ランプが本体の底面にあり、正面から見にくくなっています。電源ランプの点灯している色がわからない場合は底面をご確認ください。

MENU/ENTERボタン

OSD画面が表示されていないとき
OSD画面を表示します。
OSD画面が表示されているとき
選択した主/副項目メニューの決定および調節値（設定値）の決定をおこないます。

DOWN/LEFTボタン

OSD画面が表示されていないとき（ホットキー機能）
DV MODE切り替え機能が動作します。
OSD画面が表示されているとき
下方向への主/副項目メニューの選択および設定項目の選択/調節をおこないます。

UP/RIGHTボタン

OSD画面が表示されていないとき（ホットキー機能）
音量調節、消音機能が動作します。
OSD画面が表示されているとき
上方向への主/副項目メニューの選択および設定項目の選択/調節をおこないます。

INPUT/EXITボタン

OSD画面が表示されていないとき
→ D-SUB→DVI-D→HDMI
の順で入力切り替えをおこないます。
OSD画面が表示されているとき
選択しているOSD項目メニューから抜け出るときに押します。
主項目メニューが選択されている状態の場合は、OSD画面が消えます。

電源スイッチ

電源をオン／オフします。

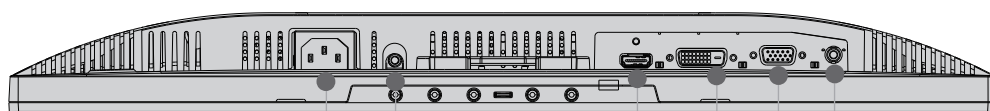
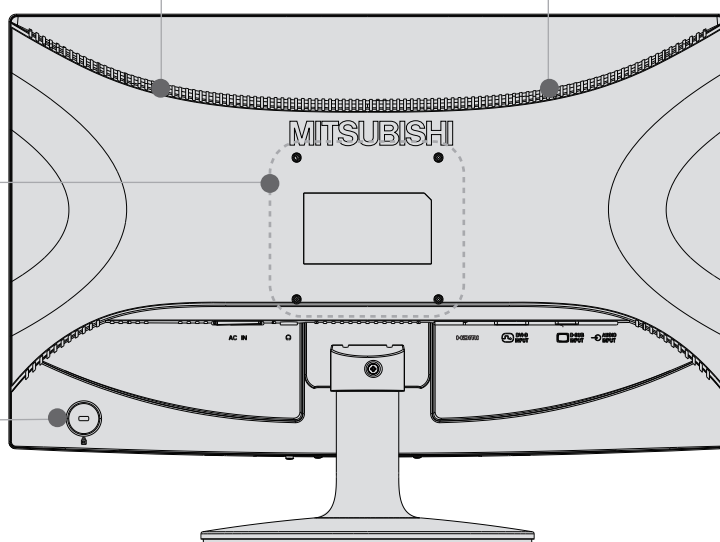
お 願 い
電源を短時間のうちに頻繁にオン／オフしないでください。
故障の原因になることがあります。

お知らせ
● 各ボタンによる詳しいOSD操作については「OSDの基本操作」→P26 をご覧ください。

本体背面

スピーカー

VESA規格準拠穴
（以下、VESA穴と記載）
市販のアームスタンドを取り付けられます。
（M4-100 mmピッチ）
→P44

盗難防止用ロック穴
盗難防止用のキー
（Kensington社製）
を取り付けられます。

電源入力コネクター
電源コードを接続します。

HDMI入力端子
市販のHDMIケーブルでAV機器または
コンピューターと接続します。

アナログ信号入力端子(D-SUB)
付属のミニD-SUB15ピンケーブル
でコンピューターと接続します。

ヘッドホン端子
ヘッドホンを接続して
使用できます。

デジタル信号入力端子(DVI-D)
付属のDVI-Dケーブルで
コンピューターと接続します。

音声入力端子(ミニジャック)
付属のオーディオケーブルで
コンピューターと接続します。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

使用の準備

使用するための流れ

[準備1] **本体にスタンドを取り付ける** →P13
スタンドを取り付ける

[準備2] **ディスプレイとコンピューターを接続する** →P14
1台のコンピューターを接続（デジタル接続／アナログ接続）
2台のコンピューターを接続（デジタル1系統／アナログ1系統同時接続）
2台または3台のコンピューターを接続（デジタル2系統／アナログ1系統同時接続）
コンピューターのオーディオ出力端子と接続

必要に応じて

[準備3] **ディスプレイとAV機器を接続する** →P17
HDMI出力に対応したAV機器との接続

[準備4] **ヘッドホンを接続する** →P18

[準備5] **電源コードを本機に接続する** →P19

[準備6] **電源プラグのアース線を接続する** →P19

[準備7] **電源プラグをAC100 V電源コンセントに接続する** →P19

[準備8] **設置する** →P20

必要に応じて

[準備9] **画面の角度を調節する** →P20

[準備10] **画面調節** →P21

必要に応じて

[準備11] **Windows® セットアップ情報** →P23

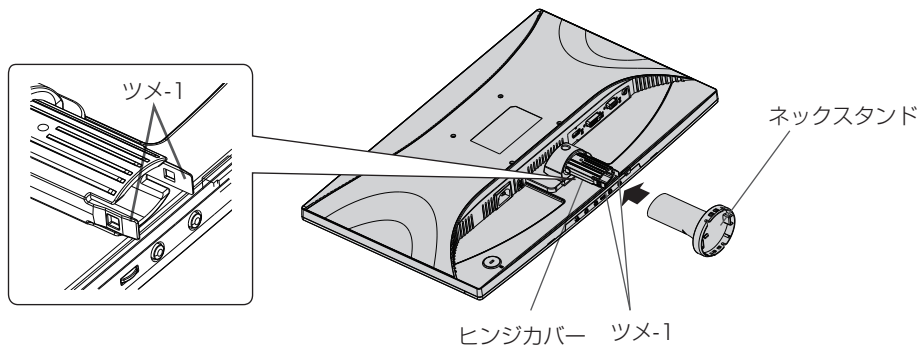
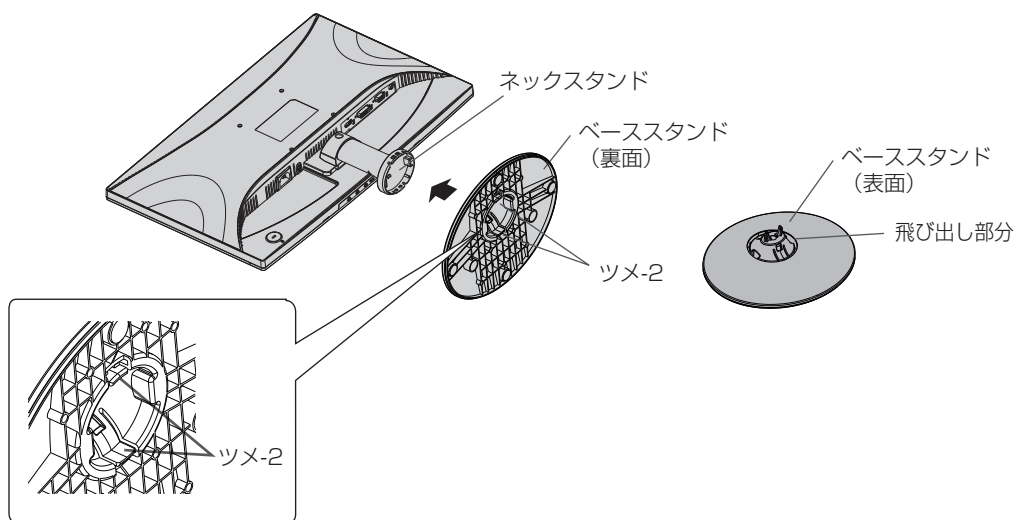
[準備12] **省エネ設定をする** →P24

これでコンピューターとディスプレイの準備は終わりです。

[準備1] 本体にスタンドを取り付ける

お 願 い

- 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、表示部を傷付けないように下向きに置いておこなってください。
- 取り付けは、必ず「1」→「2」の順番で実施してください。

1 **ネックスタンドを本体のヒンジカバーに合わせ、しっかり奥まで差し込んでください。**

2 **ベーススタンドの飛び出し部分をネックスタンドに合わせ、ベーススタンド裏面のツメ-2が「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んだ後、ツメ-2がベーススタンドに掛かっていることやネックスタンドが本体のヒンジカバーから抜けないことを確認してください。**

⚠注意

- スタンドを取り付ける際に、指を挟んでけがをしないように手袋をして作業されることを推奨します。
- スタンドを取り付ける際に、ヒンジカバーのツメ-1を触らないように注意してください。けがやツメ-1の曲がりや折れの原因になることがあります。
- 表示部を下向きに置く際に表示部の下にものを置かないでください。また、突起などが無いことを確認し、表示部を傷付けないように注意してください。

[準備2] ディスプレイとコンピューターを接続する

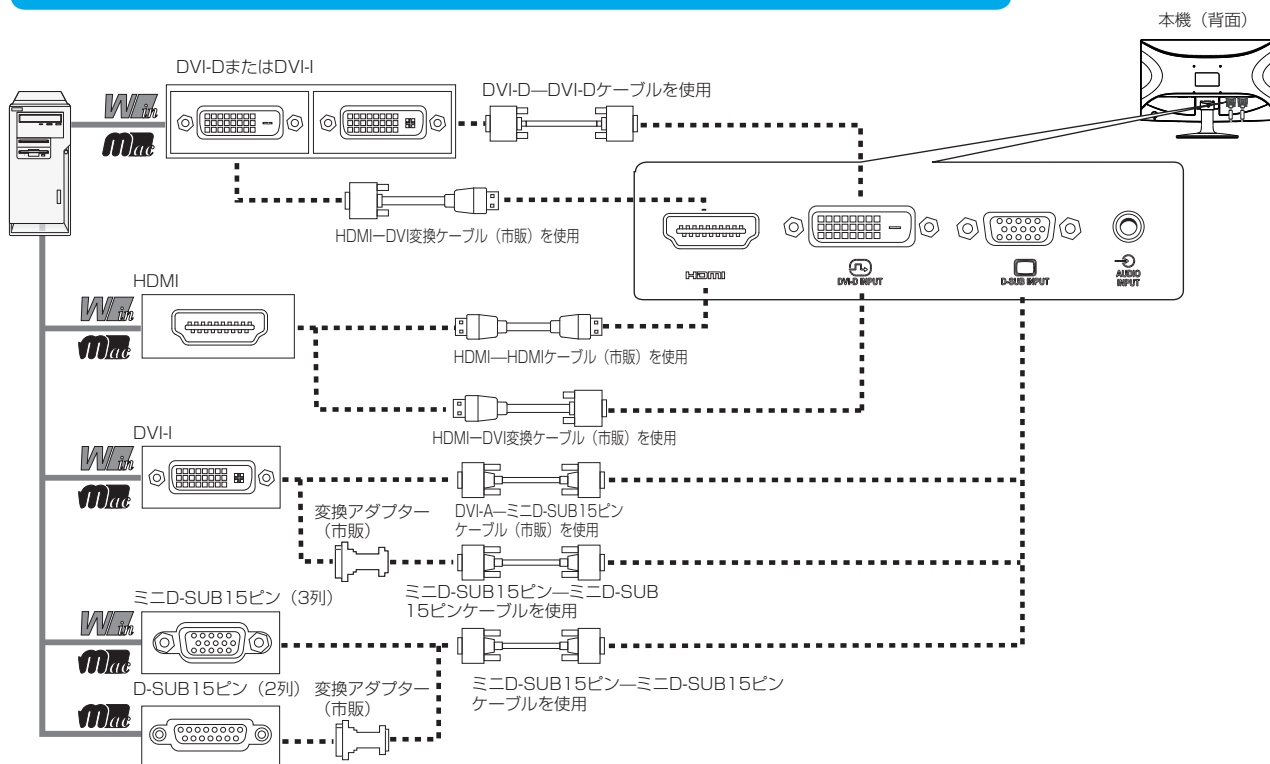
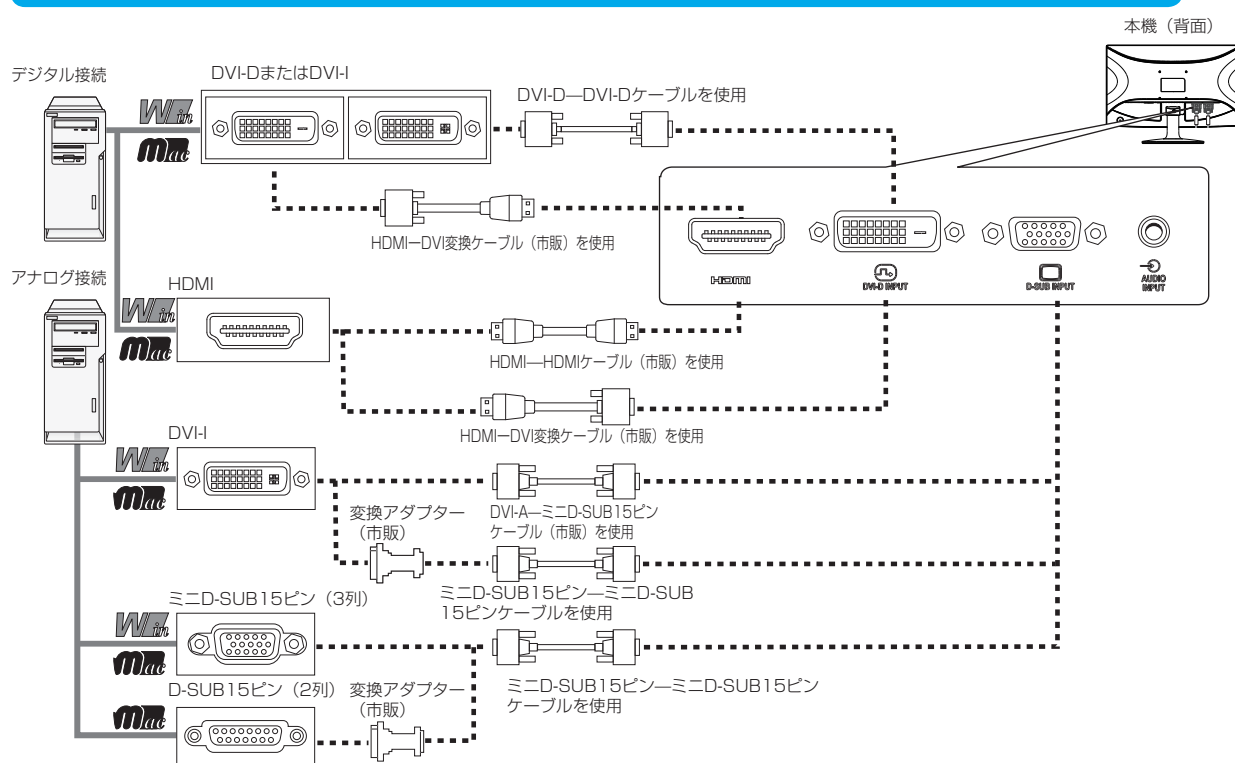
本機にコンピューターを信号ケーブルで接続してください。

お 願 い

● 信号ケーブルを接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってください。

お知らせ

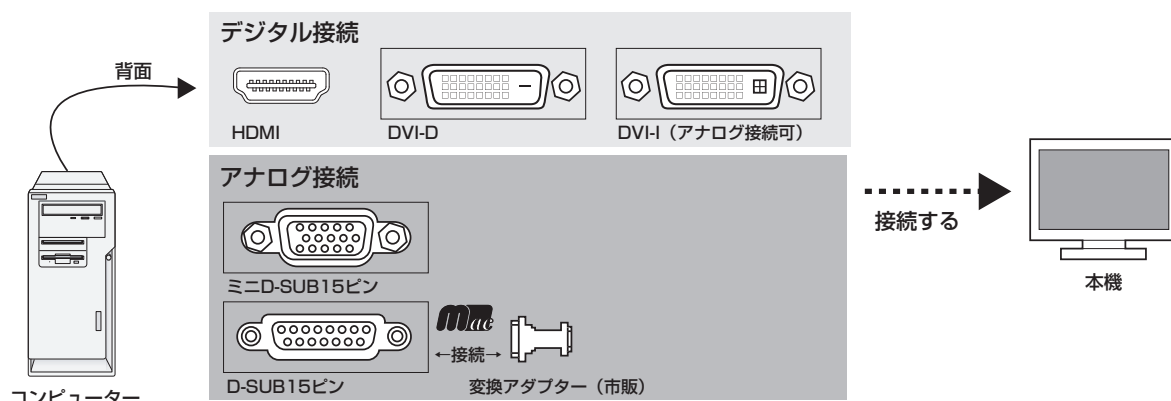
● 画面を下方に傾けた方がケーブル類の接続が簡単におこなえます。
信号ケーブルおよび変換アダプターは、接続後必ずそれぞれの固定ネジで確実に固定してください。

1台のコンピューターを接続（デジタル接続／アナログ接続）

2台のコンピューターを接続（デジタル1系統／アナログ1系統同時接続）

2台または3台のコンピューターを接続（デジタル2系統／アナログ1系統同時接続）

前ページの接続図において、2台のコンピューターを同時にデジタル接続することも可能です。その場合、それぞれのコンピューターからのデジタル接続の信号ケーブルを本機のHDMI端子とDVI-D端子にそれぞれ接続してください。
更にもう1台のコンピューターをアナログ接続することにより3台のコンピューターを同時に接続することが可能です。

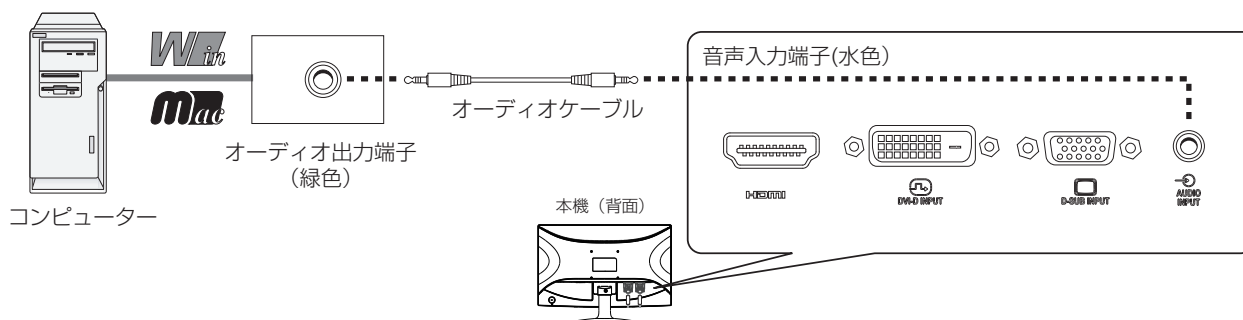
接続方法について

本機の信号入力コネクターは、アナログ信号(ミニD-SUB15ピン)とデジタル信号(DVI-D、HDMI)に対応しています。
また、複数のコンピューターを同時に本機に接続し、表示する入力を切り替えて使うことができます。
ご使用のコンピューターの出力端子の形状をお確かめになり、本機の信号コネクターに接続してください。
それぞれの接続に対応したケーブルをご使用ください。

接続コネクターと信号ケーブル対応表

ディスプレイ側 / コンピューター側	ミニD-SUB15ピン（アナログ）	DVI-D（デジタル）	HDMI（デジタル）
DVI-I（アナログ接続／デジタル接続）	DVI-A—ミニD-SUB15ピンケーブル（市販）で接続（アナログ接続）またはミニD-SUB15ピン—ミニDSUB15ピンケーブルで接続（市販の変換アダプターが必要）	DVI-D—DVI-Dケーブルで接続	DVI-D—HDMI変換ケーブル（市販）で接続
DVI-D（デジタル接続）	接続できません	DVI-D—DVI-Dケーブルで接続	DVI-D—HDMI変換ケーブル（市販）で接続
HDMI（デジタル接続）	接続できません	DVI-D—HDMI変換ケーブル（市販）で接続	HDMI—HDMIケーブル（市販）で接続
ミニD-SUB15ピン（アナログ接続）（3列）	ミニD-SUB15ピン—ミニD-SUB15ピンケーブルで接続	接続できません。	接続できません。
D-SUB15ピン Mac（アナログ接続）（2列）	ミニD-SUB15ピン—ミニD-SUB15ピンケーブルで接続（市販の変換アダプターが必要）	接続できません。	接続できません。

DVI-I ：デジタル入力とアナログ入力の両方に対応しているDVI端子。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能
DVI-D：デジタル入力のみに対応しているDVI端子
DVI-A：アナログ入力のみに対応しているDVI端子

※ Apple Macintoshシリーズコンピューターは、モデルによりアナログRGB出力コネクターが異なります。
※ 本液晶ディスプレイにDVI-Aでは接続できません。
※ 1080p映像信号を入力する場合は、一般のHDMIケーブルでは正常に動作しない場合がありますので、High Speed HDMI® ケーブルをご使用ください。

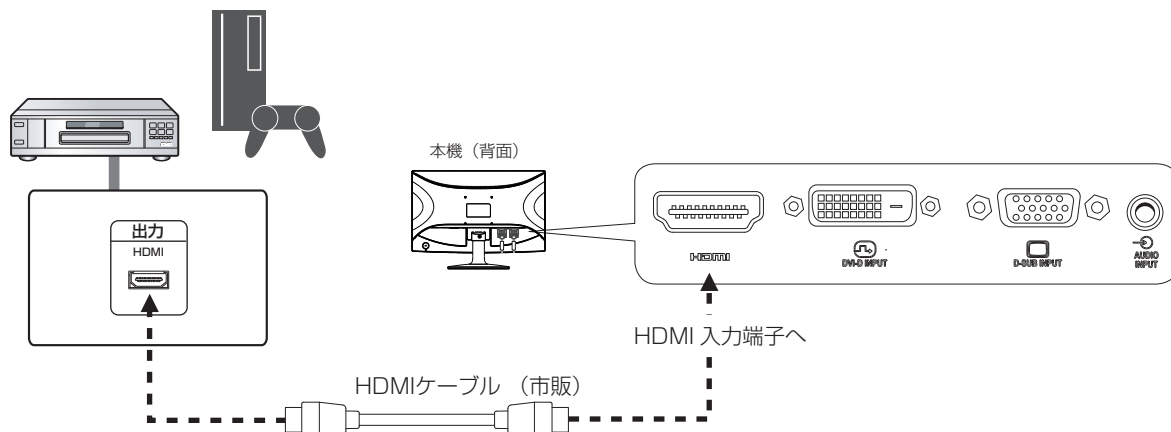
コンピューターのオーディオ出力端子と接続

お知らせ

- コンピューター側の接続方法については、コンピューターの取扱説明書もあわせて参照ください。
- オーディオケーブルは付属品またはステレオミニプラグ付きの抵抗無しのものをご使用ください。
抵抗有りのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音声が出ない場合があります。

[準備3]　ディスプレイとAV機器を接続する [必要に応じて]

HDD/DVDや各種ゲーム機器などのAV機器と市販のケーブルで接続してください。

本機は、AV機器などと接続して使用することができます。
詳しくは、AV機器などの取扱説明書を参照ください。

HDMI出力に対応したAV機器との接続

注）HDMI 入力の場合、オーディオ接続は不要です。（HDMI 信号に音声信号が含まれています。）

お知らせ

- 一部のAV機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。
  数秒（5 ～ 30 秒）お待ちください。数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。
  ・本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。
  ・電源コードを含むすべてのケーブルを抜き、接続し直してください。
  ・AV機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。
- すべてのHDMI機器への接続を保証するものではありません。
- 1080p映像信号を入力する場合は、一般のHDMIケーブルでは正常に動作しない場合がありますので、High Speed HDMI®ケーブルをご使用ください。

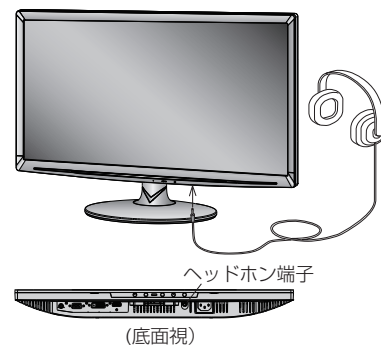
[準備4] ヘッドホンを接続する [必要に応じて]

本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続してご使用できます。

⚠注意

- **ヘッドホンを耳にあてたまま接続しないでください。**
  音量によっては耳を傷める原因になります。
- **ヘッドホンをご使用の際は、音量を上げすぎないように**
  ご注意ください。大きな音量で長時間続けて聞くと、
  聴力に悪い影響を与えることがあります。

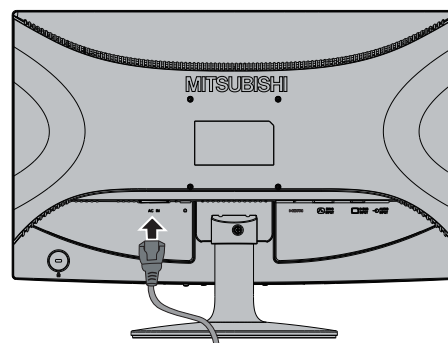
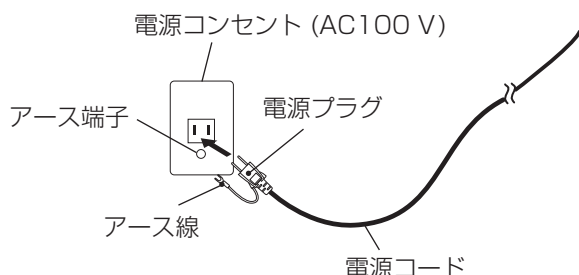
お知らせ

- 本機に接続できるのは、ステレオミニプラグ付きのヘッドホンです。
  お持ちのヘッドホンのプラグが大きくて入らないときは、「ステレオ標準プラグ→ステレオミニプラグ」変換プラグ（市販）をご使用ください。
- ヘッドホンを接続するとスピーカーからの音声は消えます。
- 画面表示開始時（電源オン時、パワーマネージメントからの復帰時など）にノイズが発生することがあります。

[準備5] 電源コードを本機に接続する

電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクターに接続する

奥までしっかりと差し込んでください。

お 願 い

- コンピューター本体の電源コンセントに接続するときは、電源容量を確認してください。（1.0 A以上必要です。）
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに差し込んでください。

[準備6] [準備7] 電源プラグのアース線を接続する 電源プラグをAC100 V電源コンセントに接続する

お 願 い

- 電源コンセントの周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。
  This socket-outlet shall be installed near the equipment and shall be easily accessible.

⚠警告

- **表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因になります。**
- **本機には一般のご家庭のコンセント（AC100 V）でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100 V以外（最大AC240 V）でご使用の際には、お使いになる電圧に適した電源コードをご準備の上お使いください。**
- **電源プラグのアース線は必ず電源コンセントなどのアース端子へ接続してください。なお、アース線の接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてからおこなってください。また、電源プラグのアース線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因になります。**
- **本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため、他の機器には使用しないでください。**

アース端子付きコンセントが無い場合

- ガス管、水道管、避雷針、電話線のアース線には接続しないでください。
  感電・爆発・引火の原因になります。
- お買い上げの販売店にアース工事（D種設置工事、有料）をご相談ください。
  アース工事は「電気工事士」の資格が必要です。

[準備8] 設置する

ディスプレイの画面が見やすい所に設置してください。

⚠注意

設置時は、次のことをお守りください。
詳しくは「安全のために必ずお守りください」をご覧ください。 →P7

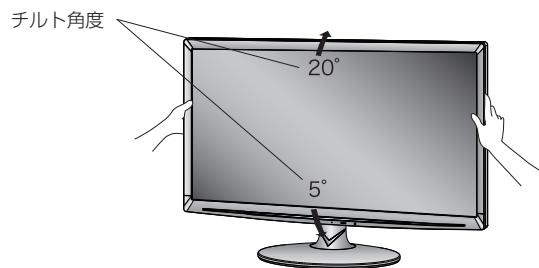
- 不安定な場所に置かないでください。
- 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気があたるような所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。
- 通風口をふさがないようにしてください。
- 本機の上面、左右面は壁などから10cm以上の間隔をおいて設置してください。
- 風通しの悪い狭い所で使用しないでください。
- 上向きや横倒し、逆さまで使用しないでください。
- 転倒・落下防止の処置を施してください。

[準備9] 画面の角度を調節する [必要に応じて]

角度を調節する

お好みに合わせて本機の角度を調節してください。
右図のように両手で動かして、見やすい角度に調節します。

⚠注意

角度調節時に、手を挟まないように気を付けてください。
けがの原因になることがあります。

液晶画面を押さないようにしてください。

[準備10] 画面調節

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

2 画面の調節をおこなう

■ デジタル接続の場合

自動判別によって画面情報を設定しますので、画面の調節は不要です。

■ アナログ接続の場合

「オートセットアップをする（D-SUB入力のとき）」 →P22 の手順にしたがって画面を調節してください。
オートセットアップをおこなってもうまく表示されない場合は「映像」メニュー（OSD機能）→P29 をご覧ください。

テストパターン

テストパターンは、下記の当社ホームページからダウンロードしてください。このテストパターンはアナログ接続した場合の画面調節をするときに使用します。
ご使用方法については、ダウンロードしたREADME をご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download

「映像」メニューの「水平位置」または「垂直位置」の項目で調節をおこない、白い枠が完全に見えるようにする。→P29

「映像」メニューの「水平サイズ」または「位相」の項目で調節をおこない、白黒の縦じまがはっきりと見えるようにする。→P29

「画質」メニューの「コントラスト」で調節をおこない、白の階調差が見えるようにする。→P28

テストパターン表示画面

お知らせ

テストパターンは、64bit版OSに対応しておりません。
＜対応OS＞
Windows® 95/98/Me/2000、Windows® XP(32bit版)、Windows Vista® (32bit版)、Windows® 7(32bit版)

オートセットアップをする（D-SUB入力のとき）

本機をコンピューターとアナログ接続の方法で接続したときは、最初にオートセットアップをおこないます。
その後、更に調節をおこなう必要がある場合は各調節項目を個別に調節してください。 →P29

お知らせ

- オートセットアップは適切な画面を表示するよう、画面の「水平位置」、「垂直位置」、「水平サイズ」、「位相」を自動で調節します。
- OSD画面を表示する方法など、操作のしかたの詳細については、「OSDの基本操作」→P26 をご覧ください。

1 本機およびコンピューターの電源を入れる

2 画面全体にテストパターン →P21 またはワープロソフトの編集画面などの白い画像を表示する

3 オートセットアップをおこなう

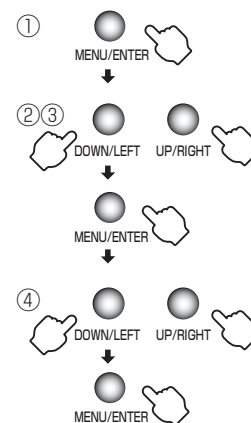
①「MENU/ENTER」ボタンを押してOSD画面を呼び出す。

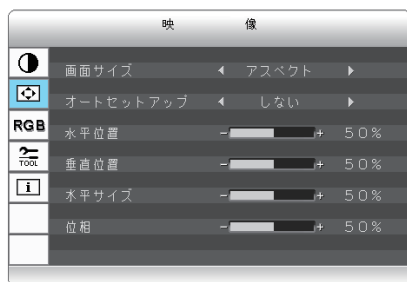
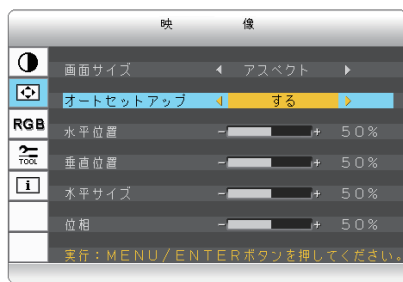
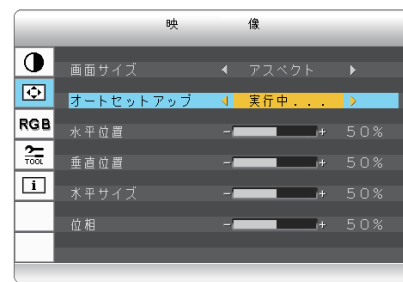
②「UP/RIGHT」「DOWN/LEFT」ボタンで「映像」にカーソルを移動し、「MENU/ENTER」ボタンで決定する。

③「UP/RIGHT」「DOWN/LEFT」ボタンで「オートセットアップ」にカーソルを移動し、「MENU/ENTER」ボタンで決定する。

④「UP/RIGHT」「DOWN/LEFT」ボタンで「する」を選択し、「MENU/ENTER」ボタンで決定する。

⑤「水平位置」「垂直位置」「水平サイズ」「位相」の自動調節が実行されます。

①
MENU/ENTER
②③
DOWN/LEFT UP/RIGHT
MENU/ENTER
④
DOWN/LEFT UP/RIGHT
MENU/ENTER

お知らせ

- オートセットアップ中は、オートセットアップの項目に「実行中...」と表示されます。

OSD画面-②

OSD画面-④

OSD画面-⑤

お 願 い

- DOSプロンプトのように文字のみの場合や画面いっぱいに画像が表示されていない場合は、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節 →P29 でお好みの画面に調節してください。
- 白い部分が極端に少ない画像の場合も、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。この場合も手動調節 →P29 でお好みの画面に調節してください。
- コンピューターやビデオカード、解像度によっては、オートセットアップがうまく機能しない場合があります。この場合は、手動調節 →P29 でお好みの画面に調節してください。

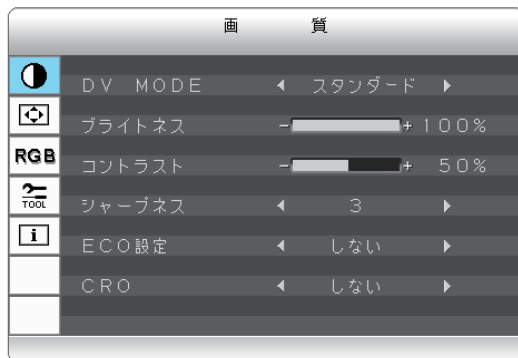
[準備11] Windows® セットアップ情報 [必要に応じて]

Windows® XP/7, Windows Vista® 用の「画面の設定」でご利用いただくためのファイル情報は、下記の当社ホームページからダウンロードしてください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/download

[準備12]　省エネ設定をする [必要に応じて]

ECO設定の変更

1
① 「MENU/ENTER」ボタンを押して、OSD画面を呼び出す。
② 「UP/RIGHT」「DOWN/LEFT」ボタンで「画質」を選択し、「MENU/ENTER」ボタンを押す。
③ 「UP/RIGHT」「DOWN/LEFT」ボタンで「ECO設定」を選択し、「MENU/ENTER」ボタンを押す。
④ 「UP/RIGHT」「DOWN/LEFT」ボタンを押して、「しない」「MODE1」「MODE2」「MODE3」の中から、お好みの設定を選ぶ。選んだ後、「MENU/ENTER」ボタンを押して決定する。
⑤ 「INPUT/EXIT」ボタンを2回押して、OSDメニュー画面を消す。

お知らせ

● OSDの操作方法は、「OSDの基本操作」 →P26 を参照ください。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき

使用の準備

機能

困ったとき

付録

用語解説
さくいん

機能

本機には画面の調節が簡単にできるOSD（On Screen Display）機能がついています。
OSD機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節や、その他の設定をおこないます。

OSD画面の構成

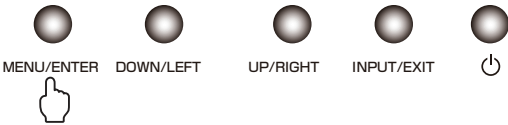
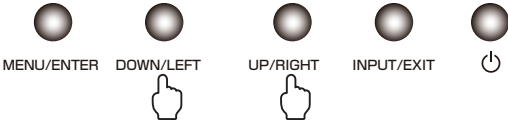
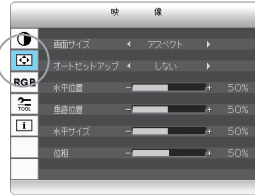
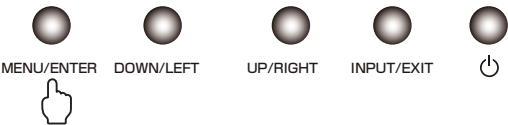
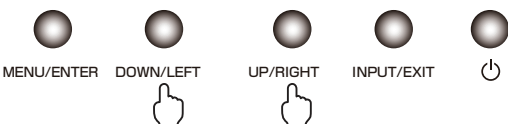
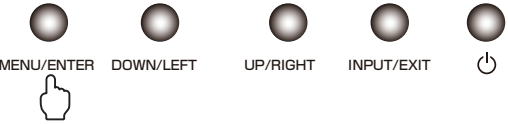
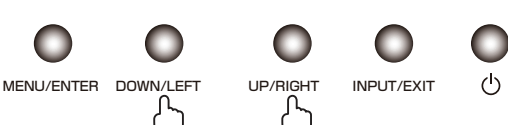
OSD画面は、以下に示すような構成になっています。

主項目メニュー
選択項目が青い背景になります。
「UP/RIGHT」「DOWN/LEFT」ボタンで調節したい項目へ移動し、「MENU/ENTER」ボタンで決定します。

調節バー
＋－方向にバーが伸び縮みします。調節状態の割合を感覚的にお知らせします。
両端の ◀ ▶ マークは調節可能な状態であることを示します。

副項目メニュー
選択項目が青い背景になります。
「UP/RIGHT」「DOWN/LEFT」ボタンで調節したい項目へ移動し「MENU/ENTER」ボタンで決定します。
決定された項目の調節バーは黄色い背景へ変わります。
その後「UP/RIGHT」「DOWN/LEFT」ボタンで調節をおこないます。

お知らせ
● 入力信号、DV MODEの設定 →P32 により、調節／設定できないメニューがあります。

調節割合
現在の設定状態の割合を数値でお知らせします。

OSDの基本操作

最初に、本機の電源ボタンを押し、画面を映し出しておきます。

手順	本体ボタンの操作	OSD画面状態の例
1	「MENU/ENTER」ボタンを押して、OSDメニュー画面を表示する。 MENU/ENTER DOWN/LEFT UP/RIGHT INPUT/EXIT	
2	「UP/RIGHT」「DOWN/LEFT」ボタンを押して、調節する主項目メニューを選択する。 ● 選択したグループアイコンが青色になります。 MENU/ENTER DOWN/LEFT UP/RIGHT INPUT/EXIT	
3	「MENU/ENTER」ボタンを押して、選択した主項目メニューを決定する。 ● 副項目メニューの最上段が選択された状態になります。 ● 選択されているメニューバーが青色になります。 MENU/ENTER DOWN/LEFT UP/RIGHT INPUT/EXIT	
4	選択する副項目メニューを変える場合は、「UP/RIGHT」「DOWN/LEFT」ボタンを押して、調節したいメニューを選択する。 MENU/ENTER DOWN/LEFT UP/RIGHT INPUT/EXIT	
5	「MENU/ENTER」ボタンを押す。 ●選択項目または調節バーが黄色になります。 MENU/ENTER DOWN/LEFT UP/RIGHT INPUT/EXIT	
6	調節したいメニューが選択項目の場合は、再び「UP/RIGHT」「DOWN/LEFT」ボタンを押して、お好みの設定を選択する。 調節したいメニューが調節項目の場合は、再び 「UP/RIGHT」「DOWN/LEFT」ボタンを押して、調節レベルの増減をおこなう。 MENU/ENTER DOWN/LEFT UP/RIGHT INPUT/EXIT	
7	「INPUT/EXIT」ボタンを数回押して、主項目メニュー選択OSD画面に戻す。 MENU/ENTER DOWN/LEFT UP/RIGHT INPUT/EXIT	

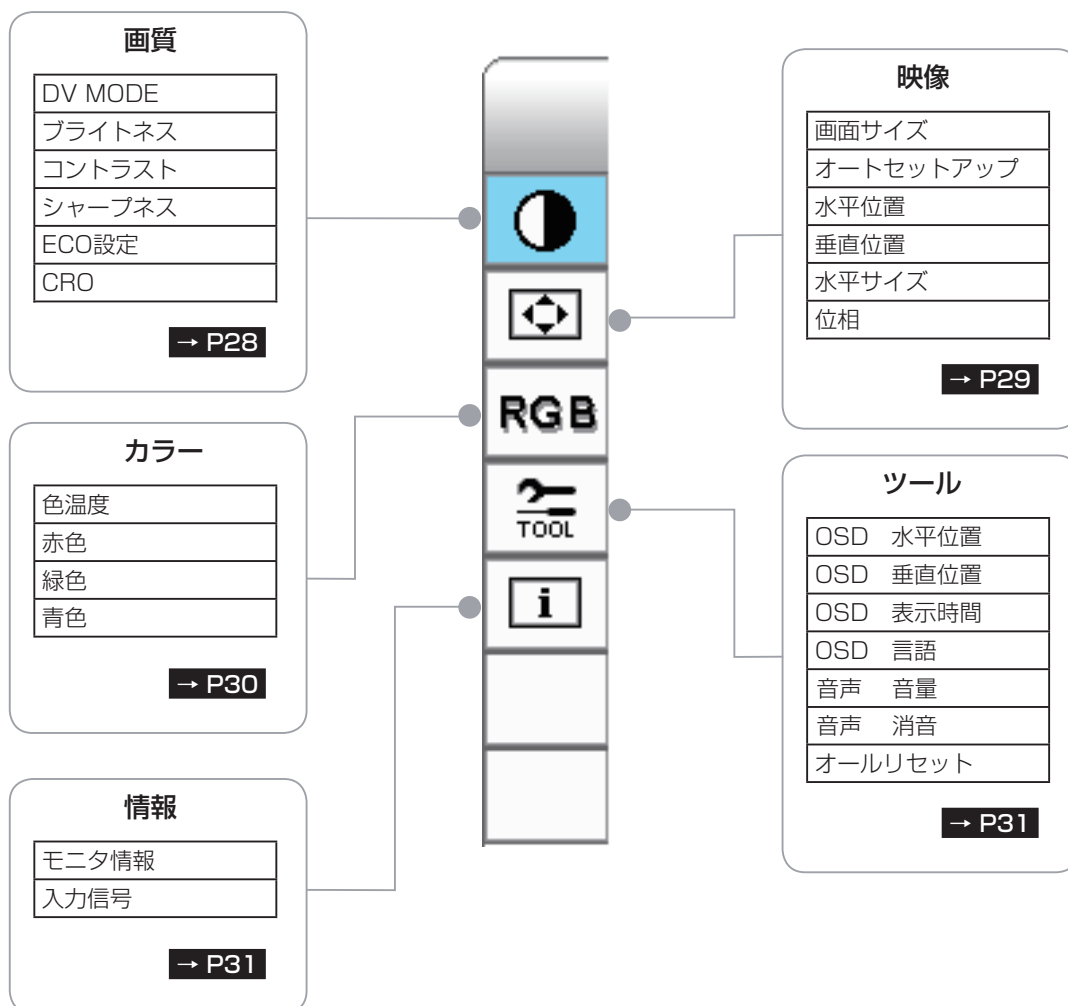
最後に、もう一度「INPUT/EXIT」ボタンを押すと、OSD画面は消えます。

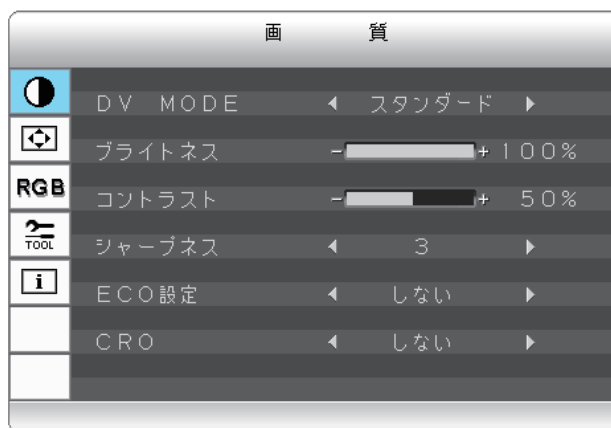
お知らせ

● OSD画面が表示された後、操作がおこなわれない場合は、「OSD表示時間」 → P31 で設定された時間が経過すると自動的に消えます。

OSDメニュー一覧

各グループの構成は以下のようになっています。選択項目の詳細については次ページ以降に記載しています。
入力端子、入力信号、DV MODEの設定などにより、調節や設定ができない項目があります。
その場合は、灰色文字で表示され選択できません。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

画質

DV MODE・画面の明るさ・コントラスト・シャープネス・ECO 設定・CRO の調節や設定ができます。

■ DV MODE → P32

お好みの画質モードを選択できます。
「スタンダード」「IV テキスト」「フォト」「sRGB」「TV」「シネマ」「ルックアップ」

■ ブライトネス

画面の明るさをお好みの状態に調節してください。

お知らせ

● DV MODE で「IV テキスト」が選択されている場合は調節できません。

■ コントラスト

画面のコントラストをお好みの状態に調節してください。

お知らせ

● DV MODE で「スタンダード」「IV テキスト」「TV」「シネマ」「ルックアップ」が選択されている場合のみ調節できます。

■ シャープネス

文字や映像のキレを調節することができます。

お知らせ

● 1 〜 5 の 5 段階で調節できます。

■ ECO 設定

「しない」「MODE1」「MODE2」「MODE3」の中から、お好みの省エネモードを設定できます。
MODE1：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約 3W 削減します (*)。
MODE2：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約 6W 削減します (*)。
MODE3：画面の明暗に応じて、自動的に消費電力を最大約 9W 削減します (*)。

お知らせ

●「オン」時には、画面の明るさが低減します。
● (*) マーク説明：画面全体の平均輝度が 75%以上の状態において ECO 設定「しない」と比較した場合。（当社測定結果による）

■ CRO

CRO（コントラストレシオオプティマイザー）機能の「しない」「する」を選択します。
映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御します。
画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。

お知らせ

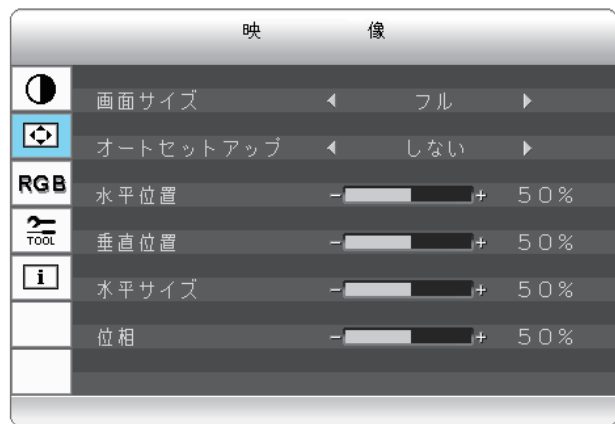
● DV MODE で「スタンダード」「TV」「シネマ」「ルックアップ」が選択されている場合のみ選択できます。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

映像

画面サイズ・オートセットアップ・画面の水平位置・垂直位置・水平サイズ・位相の調節や設定ができます。

お知らせ

- オートセットアップ、水平位置、垂直位置、水平サイズ、位相は、アナログ（D-SUB）信号入力時のみ操作できます。

■ 画面サイズ → P32

自動的に画面サイズを拡大します。
「フル」「アスペクト」から選択してください。

■ オートセットアップ → P22

「する」の選択でオートセットアップ機能を実行します。

■ 水平位置

画面表示位置を左右方向に移動できます。

■ 垂直位置

画面表示位置を上下方向に移動できます。

■ 水平サイズ

画面の幅を調節します。
画面に縦縞が現れるときや左右の画面サイズが合っていないときに調節します。

■ 位相

画面に横方向のノイズがあったり、文字のにじみ、輪郭のぼやけがある場合に調節します。

カラー

RGB 画面の色温度の調節ができます。

■ **色温度**

「USER」「9300K」「6500K」「5000K」の中からお好みの色温度を選択してください。

お知らせ

● DV MODE で「スタンダード」「フォト」「TV」「シネマ」「ルックアップ」が選択されている場合のみ選択できます。

■ **赤色**

色温度で「USER」を選択したときに、赤色を調節できます。

■ **緑色**

色温度で「USER」を選択したときに、緑色を調節できます。

■ **青色**

色温度で「USER」を選択したときに、青色を調節できます。

ツール

OSD 画面の表示位置・表示時間・表示言語の調節や選択、音声の音量調節と消音設定、およびオールリセットをおこなうことができます。

■ OSD　水平位置

OSD 画面の表示位置を左右方向に移動できます。

■ OSD　垂直位置

OSD 画面の表示位置を上下方向に移動できます。

■ OSD　表示時間

OSD 画面の表示時間を 5 ～ 60 秒の間（5 秒単位）で設定できます。

■ OSD　言語

OSD 画面の表示言語を「日本語」と「ENGLISH」から選択できます。

■ 音声　音量

音量を調節します。

■ 音声　消音

消音機能の「しない」「する」を選択します。

お知らせ

- 音量調節・電源オフで消音機能は解除されます。

■ オールリセット

「画質」「映像」「カラー」「ツール」の各設定を工場出荷状態に戻します。

お知らせ

- 「OSD　言語」はリセットされません。

情報

ご使用のモニター情報（モデル名とシリアルナンバー）および入力信号情報をお知らせします。

お知らせ

- 入力信号によっては、解像度や周波数を正しく表示できない場合があります。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

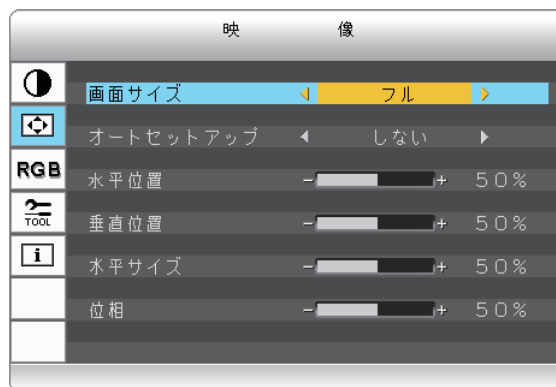
OSD機能の補足説明

OSD機能の補足説明をします。

画面サイズ →P29

「フル」、「アスペクト」を選択できます。

入力信号＼画面サイズ	フル	アスペクト
PCタイミング	○	○ (*1)
AV SDタイミング (480p)	○	○
AV HDタイミング (1080p/720p/1080i)	○	○ (*1)

「フル」　：映像を画面全体に拡大します。
「アスペクト」　：縦横比を変えずに画面を拡大します。（画面の左右に黒帯ができます。）

お知らせ

- 一部の解像度では画面全域に拡大されません。
- 入力信号によっては、縦または横方向に十分に拡大されない場合があります。
- (*1)：映像信号が16：9タイミングの場合は、「アスペクト」を選択しても画面サイズは変更されません。
- 480iの信号が入力された場合はコンテンツによってちらつきが発生する場合がありますので、AV機器側の解像度設定を他の信号タイミング（480p、1080i、720p、1080p）に切り替えてご使用ください。

DV MODE →P28

適切な画質を簡単に設定できます。
メニューの中からお好みの表示モードをお選びください。
また、ホットキー機能 →P33 を使うことで、
「DV MODE」をダイレクトに切り替えることができます。

お知らせ

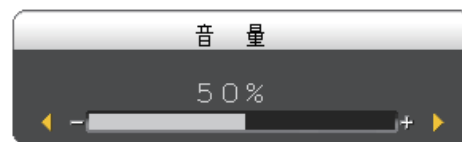
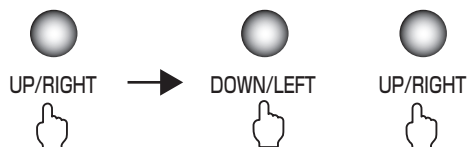
適切な画像表示モードにするため「ブライトネス」、「色温度」、「シャープネス」、「CRO」などは選択したモード毎に個別の値を持っていますが、選択したモードによって値が変わったり調節/設定ができない副項目メニューがあります。

「スタンダード」：標準の設定です。
「IVテキスト」　：全体の明るさ、コントラストを抑え、目が疲れにくく、通常のワープロや表計算ソフトに適した設定です。
「フォト」　：自然画／静止画に適した設定です。
「sRGB」　：国際色再現規格で表示する設定です。
「TV」　：TV番組を視聴するのに適した設定です。
「シネマ」　：暗いシーンの多い映画を見るのに適した設定です。
「ルックアップ」：寝ころんで見上げる姿勢でも、奥行き感を阻害しない設定です。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

音量調節ホットキー操作

OSDメニュー画面が出ていない状態から、「UP/RIGHT」ボタンを押すと、音量調節機能が動作します。
「UP/RIGHT」または「DOWN/LEFT」ボタンで調節できます。
また、OSDメニュー画面が出ていない状態から「UP/RIGHT」ボタンを約2秒以上長押しすると、消音モードになります。消音モードを解除するには、「UP/RIGHT」または「DOWN/LEFT」ボタンを押してください。

音量調節

音量調節画面

消音モード

消音モード画面

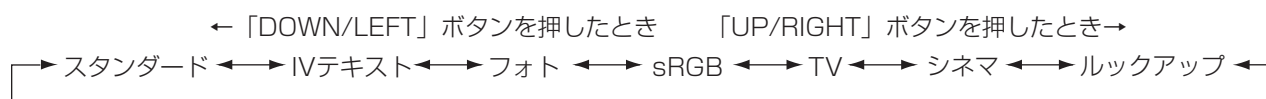
DV MODE選択ホットキー操作

OSDメニュー画面が出ていない状態から、「DOWN/LEFT」ボタンを押すと、DV MODE選択機能が動作します。
「UP/RIGHT」または「DOWN/LEFT」ボタンでお好みのモードを選択できます。

DV MODE 画面
(スタンダード選択時)

「UP/RIGHT」または「DOWN/LEFT」ボタンを押すたびに、以下のようにモードが変わります。

←「DOWN/LEFT」ボタンを押したとき　「UP/RIGHT」ボタンを押したとき→

→ スタンダード ←→ IVテキスト ←→ フォト ←→ sRGB ←→ TV ←→ シネマ ←→ ルックアップ ←

各モードの詳細については、「DV MODE」→P32 をご覧ください。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

工場プリセットタイミング

本機は下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると、自動的に適切な画面を表示します。ただし、コンピューターによっては画面にちらつきやにじみが生じることがあります。
また、入力信号によってはうまく表示できないこともあります。アナログ接続の場合は、オートセットアップ →P22 をおこなってください。

解像度	周波数		備考
	水平	垂直	
640 × 480	35.0kHz	66.7Hz	Macintosh
832 × 624	49.7kHz	74.5Hz	Macintosh
720 × 400	31.5kHz	70.1Hz	
640 × 480	31.5kHz	60.0Hz	
640 × 480	37.9kHz	72.8Hz	
640 × 480	37.5kHz	75.0Hz	
800 × 600	35.2kHz	56.3Hz	
800 × 600	37.9kHz	60.3Hz	
800 × 600	48.1kHz	72.2Hz	
800 × 600	46.9kHz	75.0Hz	
1024 × 768	48.4kHz	60.0Hz	
1024 × 768	56.5kHz	70.1Hz	
1024 × 768	60.0kHz	75.0Hz	
1152 × 864	67.5kHz	75.0Hz	
1152 × 870	68.7kHz	75.0Hz	Macintosh
1280 × 960	74.8kHz	75.0Hz	Macintosh
1280 × 1024	64.0kHz	60.0Hz	
1280 × 1024	80.0kHz	75.0Hz	
1680 × 1050	65.3kHz	60.0Hz	
1600 × 900	60.0kHz	60.0Hz	
1920 × 1080	33.7kHz	59.9Hz	1080i
1920 × 1080	67.5kHz	59.9Hz	1080p（推奨タイミング）
1280 × 720	45.0kHz	59.9Hz	720p
720 × 480	31.5kHz	59.9Hz	480p

お知らせ

- 入力信号の識別は、水平周波数・垂直周波数・同期信号極性・同期信号タイプによりおこなっています。
- 上表に示す工場プリセットタイミング以外もタイミングを記憶できる機能があります（ユーザーメモリー機能）。
  記憶させたい信号を入力し、オートセットアップ →P22 するとタイミングおよび画面情報が自動的に記憶されます。
- 「オールリセット」を実行するとすべてのユーザーメモリーに記憶された値が消去されます。
- 本機の周波数は水平周波数：24.7～82.3 kHz、垂直周波数56～76 Hz対応となっていますが、この範囲内であっても入力信号によっては正しく表示できない場合があります。
  この場合は、コンピューターの周波数、または解像度を変更してください。
- 本機はコンピューターからのデジタル入力において、推奨タイミングの解像度を超える信号を選択できる場合がありますが、その信号を入力した場合は、正しく表示できないことがあります。
- 複合同期信号、シンクオングリーン信号には対応していません。
- DVI-D入力はインターレース信号に対応していません。
- 本機は解像度1920×1080以外の信号を入力した場合は、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- デジタル接続の場合は、工場プリセットタイミング信号のみを表示できます。

その他の機能について

ここでは、本機のOSD機能以外の機能について説明しています。

拡大・スムージングファイン機能

1920×1080より低い解像度の画面を自動的に拡大して表示する機能です。ギザギザ感の少ないなめらかな画像とカケの少ない文字を表示します。

お知らせ

● 入力信号によっては、画面全体に拡大されない場合があります。

簡易表示機能

本機が対応する解像度よりも高い解像度の信号が入力された場合に、自動的に画面を縮小表示する機能です。

お知らせ

● 入力信号によっては、本機能が正常に動作しない場合があります。

Plug&Play機能

VESAのDDC（Display Data Channel）2B規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に適切な画面が自動的に設定されます。
詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ノータッチオートアジャスト機能（NTAA: No Touch Auto Adjust）

（800×600以上の解像度のみ）

ユーザーメモリーに記憶されていない種類の信号が入力されると自動調節が実行されます。入力された信号を本機のマイコンが検出し、左右方向の表示位置、上下方向の表示位置、水平サイズおよび位相の自動調節を開始します。自動調節中は「自動調節実行中」の文字が表示されます。

お知らせ

● アナログ入力信号（D-SUB入力）のみ機能します。

NTAA実行中画面

入力自動選択機能（D-SUB、DVI-D入力のとき）

PC入力信号の有無によって自動的に入力がある方を表示する機能です。2台のコンピューターを本機に接続し、同時に使用している場合、「INPUT/EXIT」ボタンを押さなくても、現在表示中のコンピューターからの入力信号が無くなると自動的にもう一方のコンピューターの画面に切り替わります。

パワーマネージメント機能

コンピューターを使用しないときに、本機の消費電力を減少させる機能です。

お知らせ

● この機能はVESA DPM対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合にのみ機能します。

パワーマネージメント機能が作動している場合の消費電力と電源ランプの点灯状態は以下の通りです。

モード	消費電力	電源ランプ
標準	29 W	青色点灯
スリープモード時	0.5 W以下（AC100 V時）	橙色点灯

水平または垂直同期信号がOFF状態になっているにもかかわらず、ビデオ信号（R, G, B）が出力されているようなコンピューターについては、パワーマネージメント機能が正常に作動しない場合があります。

お知らせ

● キーボードの適当なキーを押すかマウスを動かすと、画面が復帰します。
画面が復帰しない場合は、信号ケーブルが外れているかコンピューターの電源が「切」になっていることが考えられますので、ご確認ください。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

故障かな？と思ったら

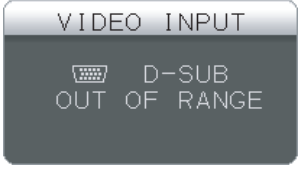
表示されないときは…　このようなときは、チェックしてください。

症　状	状　態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが点灯しない場合	電源スイッチが入っていない可能性がありますので、確認してください。	P10
		電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P19
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	−
		電源コードをコンピューターの本体の電源コンセントに接続している場合は、コンピューターの電源を入れていない可能性があります。コンピューターの電源が入っているか確認してください。	−
	電源ランプが青色に点灯している場合	「MENU/ENTER」ボタンを押してOSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P26
		● 正常な状態でOSD画面が表示された場合は「画質」メニューの「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してください。	P28
		● OSD画面が正常に表示され、「ブライトネス」と「コントラスト」を調節してもコンピューターの画面が表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P14, 34
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P42
		HDCP対応の機器を接続し画面が映らない場合は、接続機器の電源を入れ直してください。	−
	電源ランプが橙色に点灯している場合	パワーマネージメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かしてください。	P35
		信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P14
		変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P14
		コンピューターの電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。	−
		入力選択が合っていない可能性があります。「INPUT/EXIT」ボタンを押して入力切り替えをおこなってください。	P10
	電源ランプが点滅している場合	本機が故障している可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P42

表示されないときは…

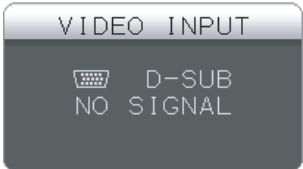
症　状	状　態	原因と対処	参照
突然画面が表示されなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合	信号ケーブルの接続が外れていませんか？ 接続されているすべてのケーブルを抜き、接続し直してください。	P14
		新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。 ※ 液晶ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。	P42
表示状態がおかしい	画面上に黒点（点灯しない点）や輝点（点灯したままの点）がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P9
	画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	−
	画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	−
	細かい模様を表示するとちらつきやモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	−
	線の太さなどがぼやける	1920 × 1080 以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。コンピューターの出力解像度を 1920 × 1080 に設定してください。 または、OSD 画面により「シャープネス」を調節すると軽減できる場合があります。 アナログ接続（D-SUB）の場合は、「オートセットアップ」を実行すると軽減できる場合があります。	P34
	表示エリア外の非表示部分に「残像」が生じる	表示エリアが画面いっぱいでない場合、長時間表示すると、このような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P8, 47
	画面を見る角度によって色がおかしい	視野角（画面を見る角度）によっては、色あいの変化が大きくなります。本機の画面の角度を調節してください。	P20, 48
	画面の表示状態が変わっていく	液晶パネルは、使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態が影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	−
	画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような「残像」という現象が起こることがあります。 液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。 電源を切るか変化する画面を表示していれば、残像は徐々に薄れていきます。	P8, 47
	表示が横長に伸びている	1920 × 1080 以外の解像度を表示すると、このような症状が生じることがありますが、故障ではありません。PC の出力解像度を 1920 × 1080 に設定してください。 または、OSD 画面により「画面サイズ」を「アスペクト」に設定してください。	P29, 34

表示されないときは…

症　状	状　態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	表示色がおかしい	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P26
		● 正常な状態で OSD 画面が表示された場合は「カラー」の「USER」を選択し、お好みで色の割合を調節するか、「オールリセット」で工場出荷設定に戻してください。	P30
		● OSD 画面が正常に表示され、色を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P14, 34
		● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。 販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P42
		ケーブルの接続不良でも、発生する場合があります。接続状態を再確認してください。	P14
	画面がちらつく（分配器を使用している場合）	分配器を中継させず、コンピューターと直接接続してください	P14
	画面がちらつく（上記以外の場合）	OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P26
		● 正常な状態で OSD 画面が表示された場合は「映像」の「位相」を選択し調節してください。	P29
		● OSD 画面が正常に表示され、「位相」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P14, 34
		● OSD 画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。	P42
		上下にちらつく場合は、コンピューターのリフレッシュレートを 60 Hz に設定してください。	－
	AV タイミング 480i の信号を入力したときに画面が「ちらつく」	480i の信号が入力された場合はコンテンツによってはちらつきが発生する場合がありますので、AV 機器側の解像度設定を他の信号タイミング（480p、1080i、720p、1080p）に切り替えてご使用ください。	－

案内画面／注意画面が表示されたら…

症　状	状　態	原因と対処	参照
OSD の「注意画面」が表示される	「NO SIGNAL」が表示された※1 VIDEO INPUT D-SUB NO SIGNAL	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。 信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクターに正しく接続してください。	P14
		信号ケーブルが断線している可能性があります。 信号ケーブルが断線していないか確認してください。	−
		コンピューターの電源が切れている可能性があります。 コンピューターの電源が入っているか確認してください。	−
		コンピューターのパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。 マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P35
		HDCP 対応の機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。 数秒程度お待ちください。	−
	「OUT OF RANGE」が表示された※2 VIDEO INPUT D-SUB OUT OF RANGE	本機が対応していない信号が入力されている可能性があります。 本機に適切な信号が入力されているか確認してください。コンピューターの解像度またはリフレッシュレートを変更してください。	P34
		本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。 コンピューターの解像度を変更してください。	P34

※ 1 コンピューターによっては、解像度やリフレッシュレートを変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※ 2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他

症　状	状　態	原因と対処	参照
表示状態がおかしい	解像度や色数が変更できない／固定されてしまう	正しく信号が入出力できないことがまれにあります。 本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。	P10
		Windows® をご使用の場合は、Windows® セットアップのインストールが必要な可能性があります。 Windows® セットアップ情報を当社ホームページからダウンロードし、コンピューターにインストールしてください。	P23
		Windows® セットアップをインストールしても設定の変更が不可能な場合、または Windows® 以外の OS をご使用の場合は、グラフィックボードのドライバーが OS に正しく認識されていない可能性があります。 グラフィックボードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。	－
音が出ない	スピーカーから音が出ない	オーディオケーブルが本機またはコンピューターのコネクターに正しく接続されていない可能性があります。 正しく接続されているか確認ください。	P16
		ヘッドホンが接続されている場合、スピーカーから音は出ません。 ヘッドホンを外してください。	P18
		音量が最小になっている、または消音機能がオンになっている可能性があります。 OSD メニューの「音量」や、音量調節ホットキーで音量を調節、または OSD メニューの「消音」で「しない」を選択してください。	P31
AV 機器の映像が何も映らない	何も映らない	一部の AV 機器を接続した場合は、すぐに画面が表示されないことがあります。 数秒（5 ～ 30 秒）お待ちください。 数秒待っても画面が表示されない場合は、下記の操作をおこなってください。 ● 本機の電源スイッチを切り、電源を入れ直してください。 ● 一旦､電源コードを含むすべてのケーブルを抜き、接続し直してください。 ● AV 機器側の電源を切り、電源を入れ直してください。	－
	「NO SIGNAL」が表示された VIDEO INPUT D-SUB NO SIGNAL	入力選択が合っていない可能性があります。 「INPUT/EXIT」ボタンを押して入力切り替えをおこなってください。	－

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

本機を廃棄するには（リサイクルに関する情報）

当社の使用済みディスプレイのリサイクルシステムの詳細については下記の当社ホームページをご覧ください。

www.MitsubishiElectric.co.jp/home/display/environment

なお、資源有効利用促進法に基づく当社の使用済みディスプレイのリサイクルのお問い合わせは下記へお願いします。

情報機器リサイクルセンター	
家庭系（個人ユーザー様）の窓口	事業系（法人ユーザー様）の窓口
フリーダイヤル 0120-345-989 www.pc-eco.jp	TEL 0467-46-5716 www.diarcs.com
受付時間　土・日・祝日を除く　午前9:00 ～午後5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

ディスプレイの回収・リサイクル

資源有効利用促進法に基づき、家庭から出される使用済みディスプレイの回収・リサイクルをおこなう“PCリサイクル”が2003年10月より開始されました。当社ではこれを受け、回収・リサイクル体制を構築し、2003年10月1日より受付しております。2003年10月以降購入されたディスプレイのうち、銘板に“PCリサイクル”が表示されている製品は、ご家庭からの排出時、当社所定の手続きにより新たな料金負担なしで回収・リサイクルいたします。事業者から排出される場合は、産業廃棄物の扱いとなります。

個人で、ご購入いただいたお客様のPCリサイクルシール申込

“PCリサイクルマーク”の表示が無い三菱ディスプレイでも、下記のリサイクル窓口ホームページより、お申し込みいただければ “PCリサイクルシール”を無償でお送りいたします。

リサイクル窓口ホームページ； www.pc-eco.jp 画面の PCリサイクルマーク申込 からお入りください。	**ご注意:** 法人（事業者）のお客様で、ご購入いただいた三菱ディスプレイは、PCリサイクルマーク対象外です。シールが貼付けられていても、廃棄時は産業廃棄物としての扱いとなります。

保証とアフターサービス

● この製品には保証書を添付しています。
保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
● 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または「修理相談窓口」にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
● この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。
日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。
This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.

お客様相談窓口（携帯電話・PHS通話可 / IP電話不可）	修理相談窓口（携帯電話・PHS通話可 / IP電話不可）
フリーダイヤル 0120-71-3322	フリーダイヤル 0120-08-1460
受付時間　土・日・祝日を除く　午前9:00 ～ 12:00　午後1:00 ～ 5:00 また、これ以外の所定の休日につきましても休ませていただきますので、ご容赦願います。	

アフターサービスを依頼される場合は、次の内容をご連絡ください。
- **お名前**
- **ご住所（付近の目標など）**
- **電話番号**
- **品名：三菱ワイド液晶ディスプレイ**
- **形名：RDT222WLM-A/RDT222WLM-A（BK）**
- **製造番号（本機背面のラベルに記載）**
- **故障の症状、状況など（できるだけ詳しく）**
- **使用状況**
（PCおよびグラフィックボード（メーカー、形名）、解像度、入力信号（アナログ、デジタル）など）
- **購入年月日または使用年数**

● 無料出張サービス規定
この製品をお買い上げから1年間は「修理相談窓口」にてディスプレイに起因する障害で修理が必要と判断された場合、無料出張サービスを適用します。その際、同梱の保証書の提示をお願いします。提示がない場合は、保証期間中でも有料となります。出張サービスは、日本国内のみ対応します。代替セット（現品とは異なる場合があります。）を無料でお貸しし、現品の持ち帰り修理になります。一部の地域で宅配業者の引き取りサービスになる場合があります。

個人情報の取り扱い

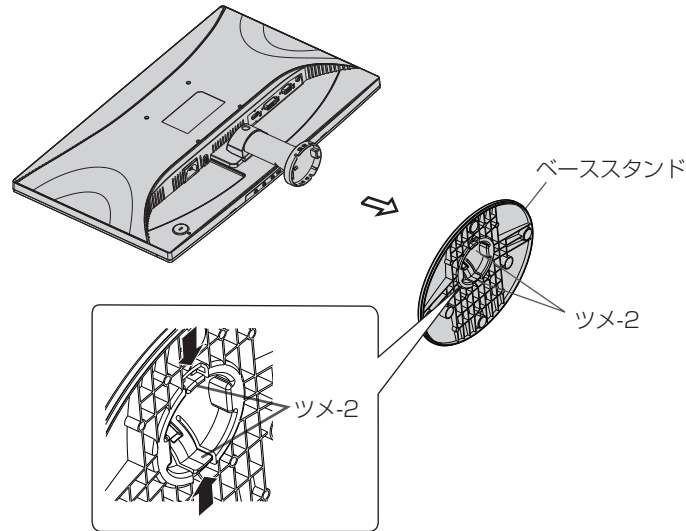
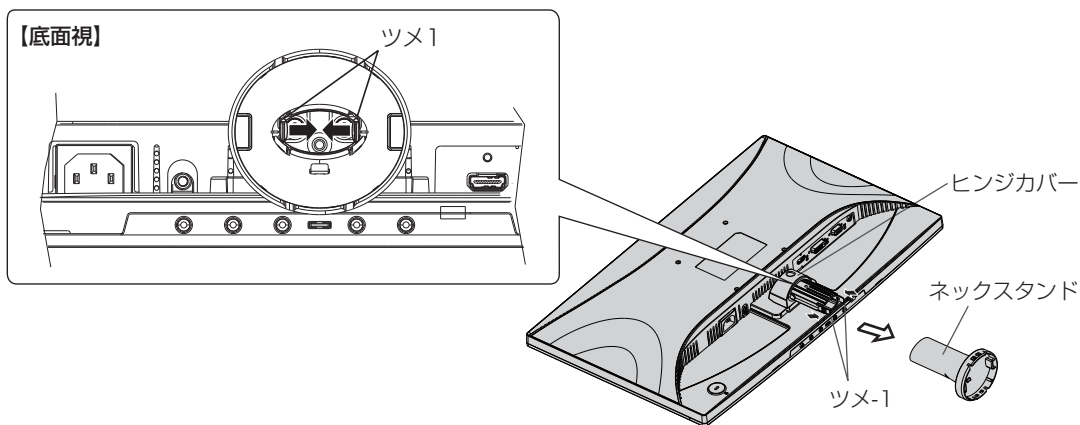
● お問い合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。
1．お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2．上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3．あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
② 法令等の定める規定に基づく場合。
4．個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

再梱包するとき

再梱包の際は次の手順でスタンドを取り外してください。

お 願 い

● 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、表示部を傷付けないように下向きに置いておこなってください。
● 取り外しは、必ず「1」→「2」の順番で実施してください。

1 ベーススタンド裏面のツメ-2を矢印（黒）方向に押しながら、ベーススタンドを矢印（白）方向に取り外してください。

2 ヒンジカバーのツメ-1を矢印（黒）方向に押しながら、ネックスタンドを矢印（白）方向に取り外してください。
取り外したベーススタンド、ネックスタンドは再梱包してください。

⚠注意

● 再梱包する際に、ヒンジカバーのツメ-1を触らないように注意してください。けがやツメ-1の曲がりや折れの原因になることがあります。
● 表示部を下向きに置く際に表示部の下にものを置かないでください。また、突起などが無いことを確認し、表示部を傷付けないように注意してください。

市販のアームを取り付けるとき

本機にはVESA 規格に準拠した（100 mmピッチ）市販のアームを取り付けることができます。

お 願 い

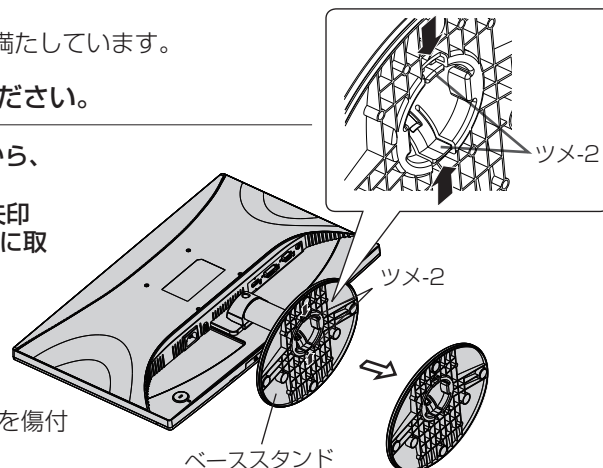
- アームは本機を支えるのに十分なものを選んでください。（本機のディスプレイ部の質量は約3.4 kgです。）

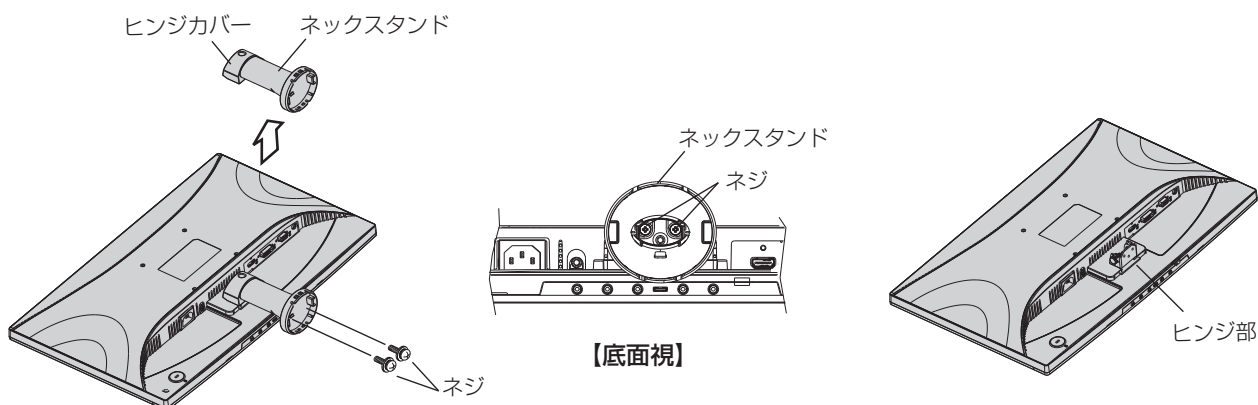
お知らせ

- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満たしています。

■ アームを取り付ける際は、下記要領で取り付けてください。

1 **本機、コンピューターおよび周辺機器の電源を切ってから、信号ケーブル、電源コードを取り外してください。その後、図のように、ベーススタンド裏面のツメ-2を矢印(黒)方向に押しながら、ベーススタンドを矢印(白)方向に取り外してください。**

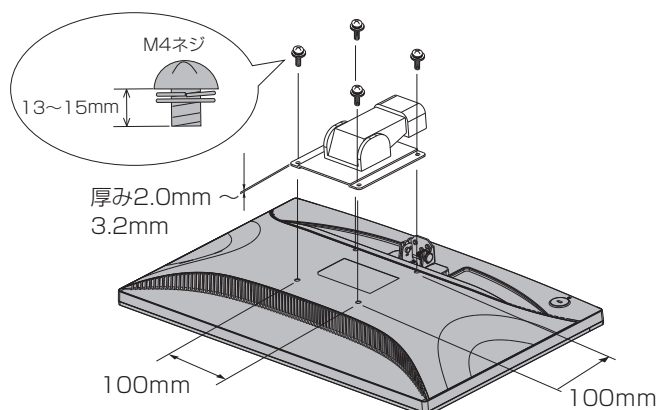
お 願 い

- 作業は、平らで安定した場所に柔らかい布を敷き、表示部を傷付けないように下向きに置いておこなってください。

2 **ネックスタンドの底面からプラスドライバー(柄の長さ100mm以上)を差し込んで2本のネジを取り外し、ヒンジカバーとネックスタンドを矢印(白)方向に取り外してください。**

お 願 い

- スタンドを取り付ける場合は、逆の手順でおこないます。
  その際は必ずスタンドの取り付けに使用していたネジを使ってください。
  仕様の異なるネジを使用されると、本機が故障する原因になる恐れがあります。
- ネジを締め付ける際は付け忘れに注意し、すべてのネジをしっかりと締め付けてください。
  なお、スタンドの取り付けはお客様の責任においておこなうものとし、万一事故が発生した場合、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

3 **右記のようにアームを取り付けてください。**

取付可能アーム：
　取付部厚み　2.0 mm ～ 3.2 mm
　VESA 規格準拠　100 mmピッチ

ネジゆるみ防止のため、すべてのネジをしっかりと締めてください。（ただし、締め付けすぎるとネジがこわれることがあります。98～137 N・cmが適切な締付トルクです。）

※　上記アームの取付部形状は参考例です。

市販のアームを取り付けるとき（つづき）

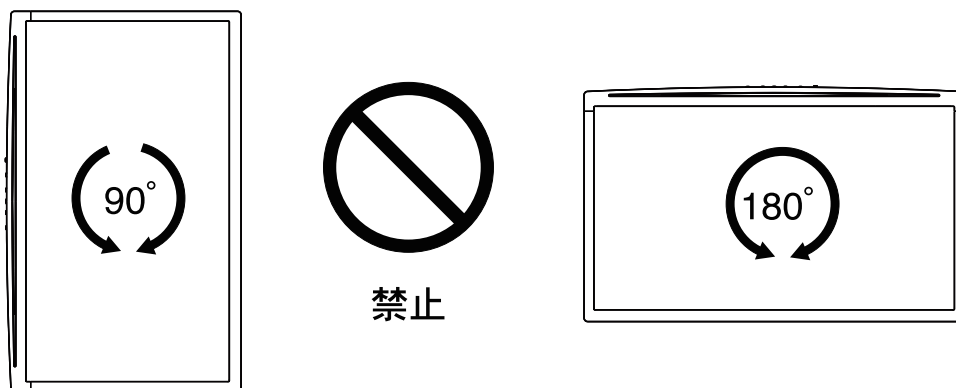
⚠注意

落下防止のために

- 液晶ディスプレイを倒したまま固定できないときは、2人以上で取り付け作業をおこなってください。
  落下してけがの原因になります。
- 取り付け作業をおこなう前に、アームの取扱説明書を必ず読んでください。
  また、地震などでの製品の落下によるけがなどの危害を軽減するために、設置場所などは必ずアームメーカーへご相談願います。
  万一、地震などで落下の恐れがある場所での就寝はしないでください。
- アームの取り付けはお客様の責任においておこなってください。
  万一事故が発生した場合でも、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

火災や感電防止のために

- アームを取り付ける際は、必ず下記に示すネジを使ってください。
  それ以外のネジを使用した場合は、本機が故障したり火災や感電の原因になる恐れがあります。
  緩み止めスプリングワッシャ付き鉄製M4ネジ（長さ13～15 mm）
- アームを取り付けて使用される場合でも、90°回転や180°回転した状態で使用しないでください。
  内部に熱がこもり、火災や感電の原因になります。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

2 系統入力 P14
2 台のコンピューターを接続するための入力端子を準備していることを表します。

CR オプティマイザー（CRO：Contrast Ratio Optimizer） P28, P48
映像の明るさに応じて、バックライトの輝度をリアルタイムに制御します。画面全体が暗い場合でも、深みのある黒を映し出します。

DDC 2B 規格（Display Data Channel） P35
ディスプレイとコンピューターの間で、設定情報などを双方向でやり取りできる国際規格です。

DDC/CI 規格（Display Data Channel Command Interface） P48
VESA が提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DPM（Display Power Management） P35
VESA が提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPM では、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

DV MODE（Dynamic Visual MODE） P28, P32
表示する内容に合わせて適切な画面を選べる機能で、「スタンダード」「IV テキスト」「フォト」「sRGB」「TV」「シネマ」「ルックアップ」の合計 7 つのモードから選ぶことができます。

DVI-D 端子（Digital Visual Interface-Digital） P14, P15
デジタル入力のみに対応している DVI 端子です。

DVI-I 端子（Digital Visual Interface-Integrated） P14, P15
デジタル入力とアナログ入力の両方に対応している DVI 端子です。接続するケーブルあるいは変換アダプターによって入力の使い分けが可能となります。

HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection System） P48
デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。HDCP に対応した映像機器を接続することにより、HDCP で保護された映像コンテンツを視聴することができます。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface） P14, P15, P17
DVD レコーダー / プレーヤーなどと接続できる AV 用のデジタルインターフェイスです。コンポーネント映像信号と音声信号、制御信号を 1 本のケーブルで接続できます。

Plug&Play P35
Windows® で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

sRGB 規格 P28, P32
IEC(International Electrotechnical Commission) により規定された色再現国際規格です。sRGB 対応のディスプレイなら、ネットワーク上でどのディスプレイでも色調を揃えることができる規格で、対応プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどとの色合わせもし易くなります。

もくじ
ご使用の前に
安全のために…
使用上のお願い
各部のはたらき
使用の準備
機能
困ったとき
付録
用語解説
さくいん

用語解説（つづき）

VESA 規格（Video Electronics Standards Association） P35, P44, P48
ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

位相 P29
アナログ映像信号の A/D 変換用サンプリングクロックの位相調節機能です。これを調節することにより、文字のにじみや横方向のノイズをなくしたりすることができます。

国際エネルギースタープログラム P4, P48
デスクトップコンピューターの消費電力を節減するために、米国の環境保護局（EPA：Environmental Protection Agency）が推し進めているプログラムのことです。

応答速度 P48
表示している画面を変化させたときの画面の切り替わりの速さ（追従性）のことで、数値が小さいほど応答速度は速くなります。応答速度は黒→白→黒の階調変化に要する時間の合計です。

輝度 P48
単位面積あたりの明るさのことで、数値が大きいほど表示画面が明るくなります。

コントラスト比 P48
白と黒の明るさの比率を示す指標のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

残像 P8, P37
残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることを推奨します。

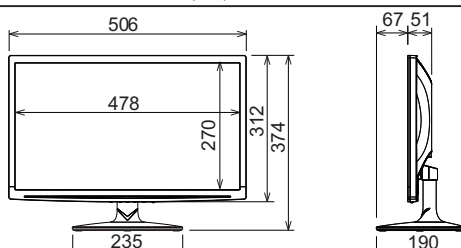
視野角 P48
斜めから見た場合など、規定のコントラスト比が得られる角度のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像を見ることができます。

水平周波数／垂直周波数（リフレッシュレート） P34, P48
水平周波数：1 秒間に表示される走査線の数のことで、水平周波数 31.5 kHz の場合、1 秒間に走査線を 31,500 回表示するということです。
垂直周波数（リフレッシュレート）：1 秒間に画面を何回書き替えているかを表します。垂直周波数が 60 Hz の場合、1 秒間に画面を 60 回書き替えているということです。

チルト角度 P20, P48
ディスプレイ画面を上向きや下向きに動かせる角度のことです。

ノータッチオートアジャスト／ NTAA（No Touch Auto Adjust） P35
コンピューターから新しい信号を受信するたびに自動的に画面を適切な状態にする機能です。

パワーマネージメント機能 P35
コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない（一定時間以上キー入力がないなど）場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

表示画素数／解像度 P34, P48
一般的には「解像度」と呼ばれています。1 画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

仕様

形名			RDT222WLM-A/RDT222WLM-A(BK)
外形寸法（mm）			506 / 478 / 270 / 312 / 374 / 235 / 67 51 / 190
液晶パネル	サイズ（表示サイズ）		21.5 型（54.7 cm）
	液晶方式		TN、ノングレア（反射防止）
	有効表示領域		476.6 × 268.1 mm
	表示画素数		1920 × 1080
	画素ピッチ		0.248 mm
	表示色		約 1677 万色（約 10 億 6433 万色中）
	視野角		左右　160°、上下　160°（コントラスト比 10）
	輝度（標準値）		240 cd/m^2
	コントラスト比		5000：1（CRO 非動作時 1000：1）
	応答速度		5 ms
	バックライト		白色 LED
PC 入力	水平周波数		デジタル入力：31.4 ～ 82.3 kHz、アナログ入力：24.7 ～ 82.3 kHz
	垂直周波数		56 ～ 76 Hz
	ビデオ信号		デジタル RGB、アナログ RGB
	同期信号		デジタル入力：TMDS、アナログ入力：セパレート同期信号（TTL）
	信号入力コネクター		デジタル入力：DVI-D（HDCP 対応＊[1]）、HDMI、アナログ入力：ミニ D-SUB15 ピン
ビデオ入力＊[2]	解像度		480i＊[3]、480p、1080i、720p、1080p
	信号入力コネクター（PC 入力コネクターと共用）		デジタル入力：HDMI
音声入出力	入力コネクター		φ 3.5 mm ステレオミニジャック
	スピーカー		2 W ＋ 2 W（ステレオ）
	ヘッドホン		φ 3.5 mm ステレオミニジャック
適合規格等	安全		電気用品安全法、S-TÜV
	不要輻射		VCCI-B、低周波電磁界ガイドライン
	省エネルギー基準		国際エネルギースタープログラム
	エルゴノミクス		ISO13406-2（準拠）
	プラグ＆プレイ		VESA DDC2B
	その他		PC グリーンラベル（★★☆ V12）、グリーン購入法、J-Moss グリーンマーク、DDC/CI、Windows® 7
使用環境条件	温度		5 ～ 35 ℃
	湿度		30 ～ 80%（結露の無いこと）
電源	電源入力		AC 100 - 240 V、50/60 Hz
	消費電力	標準	29 W
		通常時＊[4]	13.3 W
		省エネモード	スリープモード時：0.5 W 以下（AC100 V 時） オフモード時　　：0.5 W 以下（AC100 V 時）
	電源入力コネクター		3P　IEC タイプ
質量	ディスプレイ本体	スタンド含む	約 3.7 kg
		スタンドなし	約 3.4 kg
キャビネット色			RDT222WLM-A：ホワイト、RDT222WLM-A(BK)：ブラック
梱包状態（質量／寸法）			約 5.1 kg ／ 560 (W) × 400 (H)×128 (D) mm
チルト角度／スイーベル角度／高さ調節／縦型表示			上 20°、下 5°／機能なし／機能なし／機能なし

お知らせ

- 本仕様は予告無く変更される場合があります。
- 本機は、解像度 1920 × 1080 以外の信号を入力した場合、信号によって文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
- 本機の有効ドットの割合は、99.9995%以上です。
- 付属の電源コードは、国内 100 V 商用電源対応品です。
- 本機は、スタンドを取り付けた状態で各種規格要求事項を満たしています。

＊ 1　Macintosh での HDCP 対応は非サポートです。
＊ 2　安定した表示ができない場合や非表示領域に不要な線が見える場合があります。
＊ 3　480i の信号が入力された場合は、コンテンツによってはちらつきが発生する場合がありますので、AV 機器側の解像度設定を他の信号タイミング（480p,1080i,720p,1080p）に切り替えてご使用ください。
＊ 4　画面全体に対する面積比 80%、輝度 120cd/m^2 の白ウィンドウ画面時の消費電力、音量設定：最小、外部機器非接続時（当社測定結果による）。

さくいん